ま王の教室

炉夢



R18

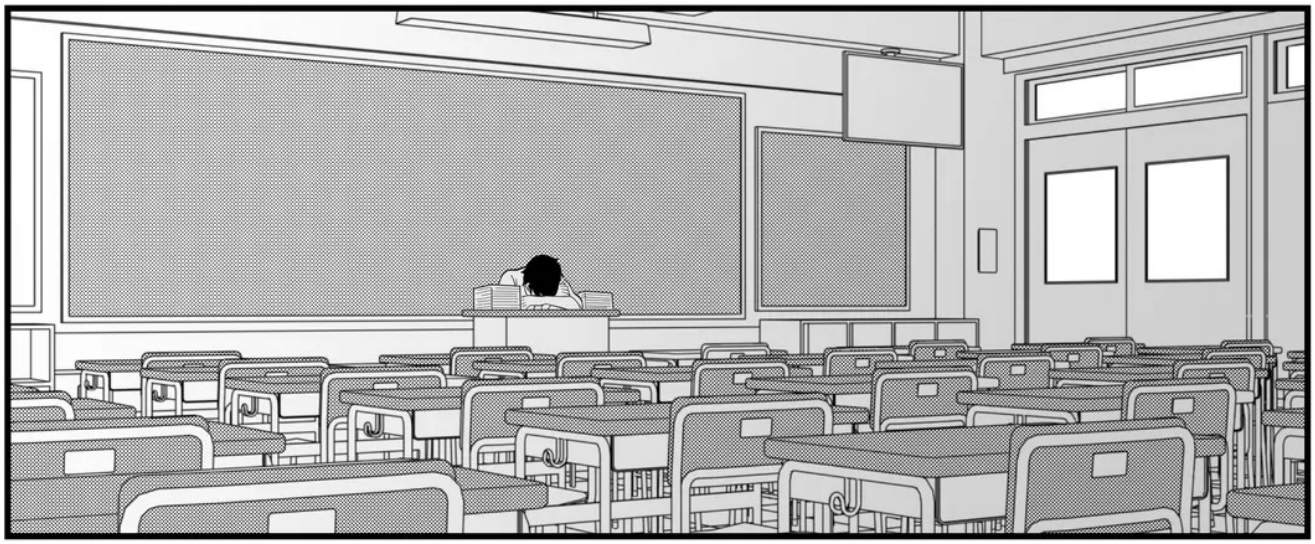

まこの教室
炉夢
R18




それで
ここの答えが…
6－1
ガヤ
ワ～
イェ～イ！
オレの勝ち！
あぁ…
もう嫌だ…


次
オレの番ね
オレは
いつまで
こんなことを…
今日
何して遊ぶ？
アハハ！
ウケる！
ガヤ
ワイ
ワ～
ヒソヒソ


授業なんて誰も聞いてないじ…
ガヤガヤ
それでね
ハハッ
ハハハ！
ワイ
何描いてるの？
ハハッ
ワイワイ
わっ上手～♪
ガヤガヤ
早く今日が終わってくれ…
ヤ～ン
コ～ン
キ～ン
コ～ン
帰ろ帰ろう
バイバ～イ




あぁ…
やっと終わった…
地獄のような
一日が…
あぁ…
疲れた…
もう 限界だ…


この
クソのような
学級…
ガキども…
何で
オレが…
こんなクラスを…


臨時の教員として
担任を任された
この6年生のクラス…
ところが
このクラスは
学級崩壊を
起こしたクラスだった…
元の担任は
精神疾患を理由に
休職…
最初は大人しかった
ガキどもだったが
次第にオレの指導も
聞かなくなり
やりたい放題だ…


他の教師たちは
自分たちの仕事が
忙しすぎて
オレの手助けなんて
できる状態じゃない…
というよりも
もうこのクラスを
何とかできる
解決策もなく
お手上げなんだ…


子どもを
指導しても…
何で
うちの子
ばっかり!
渡辺先生の
授業が面白く
ないんですよ!
保護者も
このザマだ…

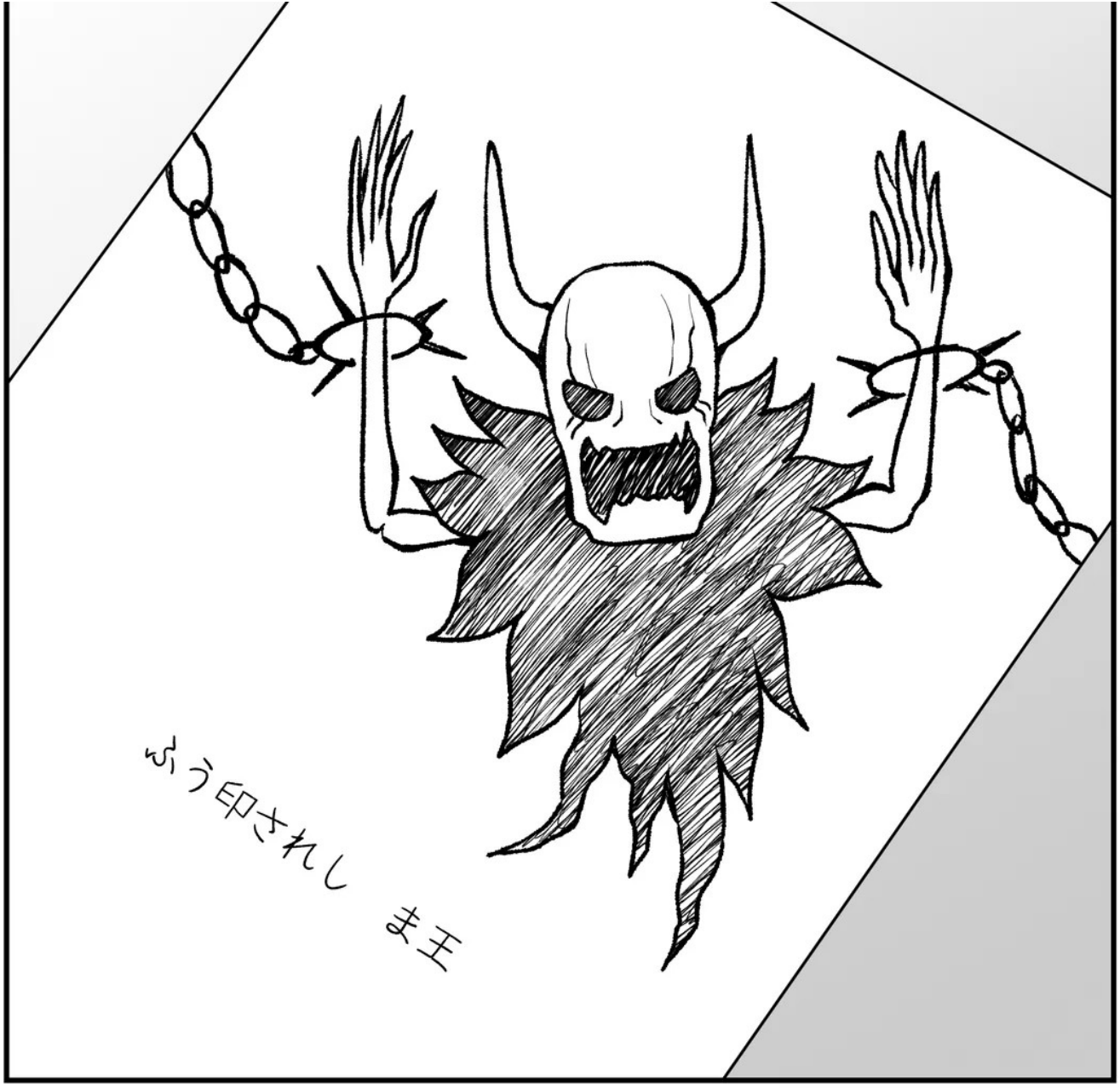

もう
辞めたいよ…
こんな学校…
ハァ…
もう
どうすれば…
クソッ…
でも辞めれば
採用試験は
絶対不合格だな…


ハァー…
ガクッ…
ちくしょう…


ガタッ
考えても
しょうがない…
早く帰って
寝よう…


グッ
コツン

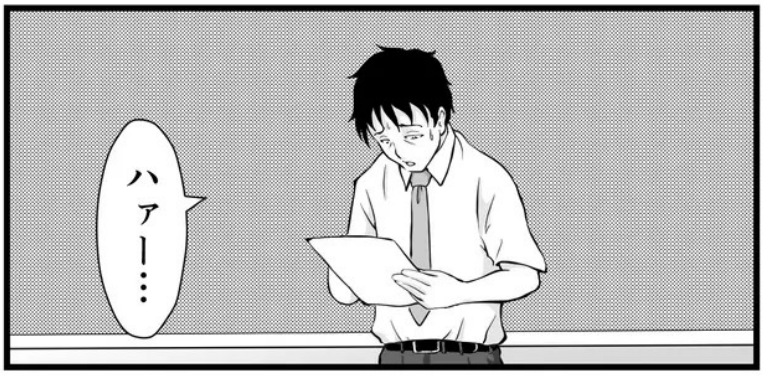




封印されし…

ふう印されし　ま王

魔王…？





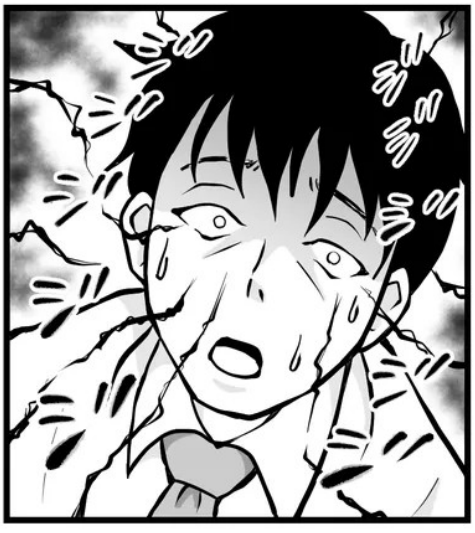

全く…
こんなこと
ばっかり…
グッ
ゴシゴシ
ゴシ
ゴシ
フンッ！
何が
封印されし魔王だ…
サッ
くだらねぇよ…
こんなもの
消しゴムで
消しちまえば…
何やってんだ…
オレは…
……
グッ
ハァ…
グッグッ
早く帰って
寝よう…


ゴゴゴゴゴゴゴ
えっ…？
な　何だ…？
ズズズズズ
ゴオオオオオ
ズズズズズ
ボキボキ


フハハッ！
我が名は
ま王
よくぞ
ワシの封印を
解いてくれたな
やっと
自由の身に
なったぞ


さて
何をしようか？
そうだ
封印を解いた礼に
キサマの望みを
叶えてやるぞ
ああ…


ククク…
おどろいて
声も出ないか
フン！
まぁ いい
キサマの頭の中を
探らせてもらおう




フハハハ！
そうか そうか
こいつは
面白い


ここのガキどもに何週間も手を焼いているようだな
ジジジジ
えっ…？
それで精神的にも追い詰められているわけか
ジジジ
フハハよかろう！
バッ
ならばワシの力でここのガキどもを支配してやるわ！
ククク…フハハハ！
ニヤッ

翌日

ハァ…
昨日のアレは
何だったんだ？

ポリポリ

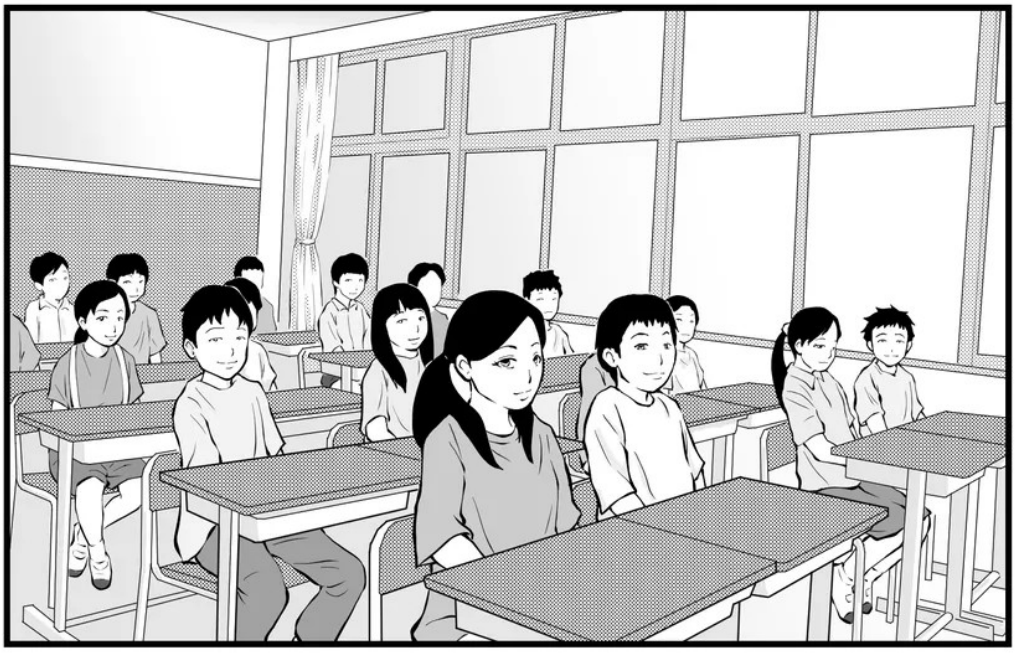
あんな
幻を見るなんて…
もう
限界だな…
病院に行くか…

おはよう…

ガラッ

…と言って
誰もあいさつ
なんて
しない―

**おはよう
ございます！**

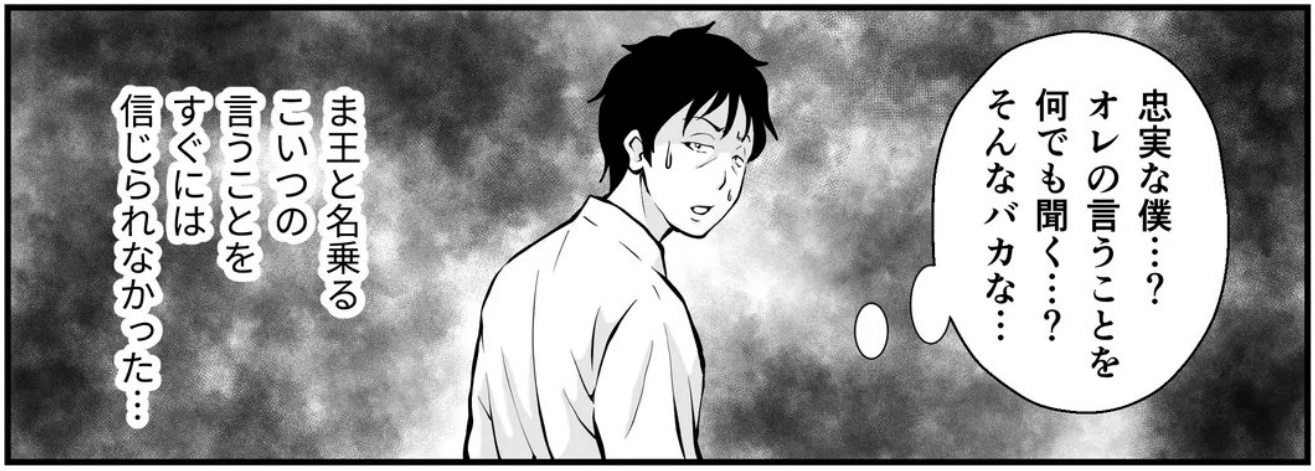


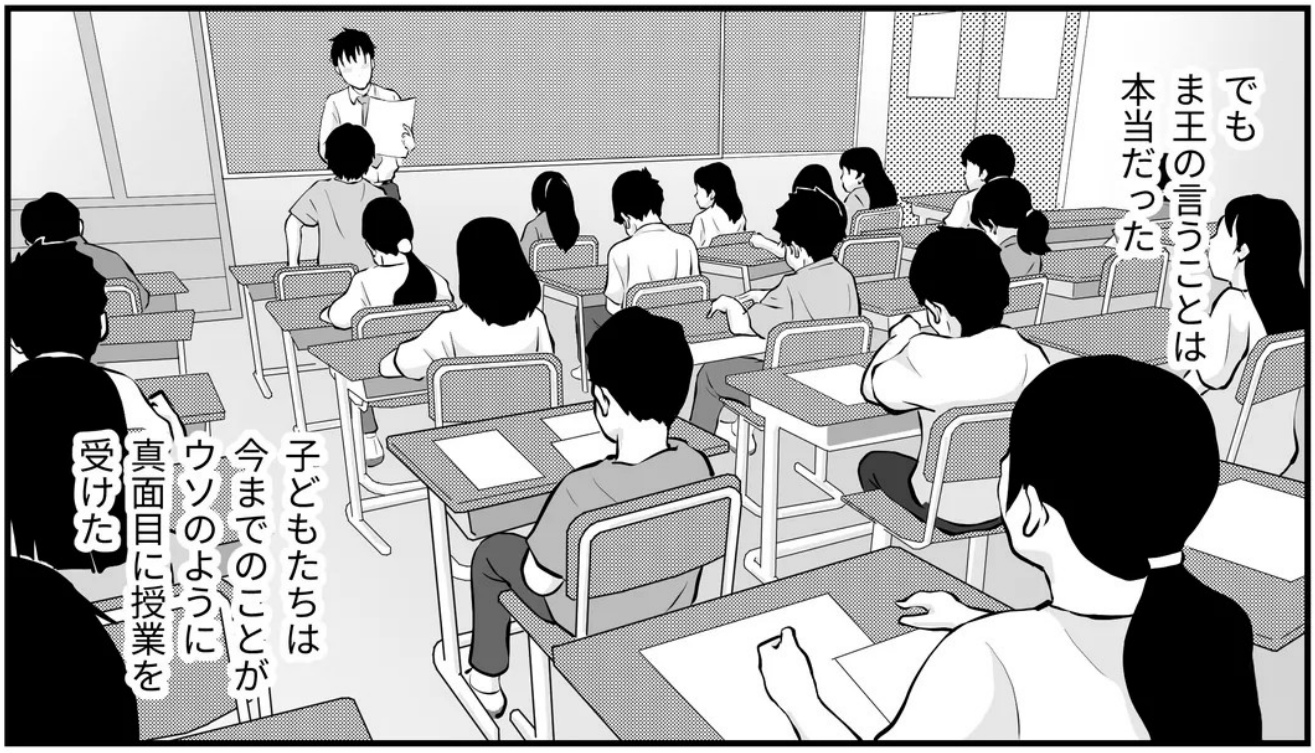
えっ…？

な
何だ…？


フハハ！　どうだ？
面白いだろ？
ズキキキ
キサマの
望み通り
このガキどもを
支配してやったぞ！
お
お前は…
ククク！
昨日のことを
幻とでも
思っていたか？
ワシは現実に
いるんだよ


ワシの力で
こいつら全員を
お前の理想の
ガキどもに
してやったぞ
お前の命令は
何でも聞く
忠実な僕だ
逆らうことも
拒むことも
ないぞ


忠実な僕…？
オレの言うことを
何でも聞く…？
そんなバカな…
ま王と名乗る
こいつの
言うことを
すぐには
信じられなかった…


でも
ま王の言うことは
本当だった
子どもたちは
今までのことが
ウソのように
真面目に授業を
受けた


誰も好き勝手に
席を離れることもない


オレの
思い描いた
理想の
クラスが
そこにあった


次の日も
また次の日も
この状況は変わらず―
オレは
やっと地獄のような
日々から解放された…


やっと
あの地獄が
終わったんだ…
終わったんだ…


終わらねえよな？
キサマ
これで満足
しているのか？


えっ？
えっ？
じゃねえよ！
キサマ
いいのか？
このガキどもに
苦しめられ
たんだろ？
こいつらに
やり返して
やろうじゃねえか


分かっただろ？
こいつら
キサマの命令を
何でも聞くんだぞ
殴られようが
蹴られようが
逆らうことも
誰かに告げ口
することもない！

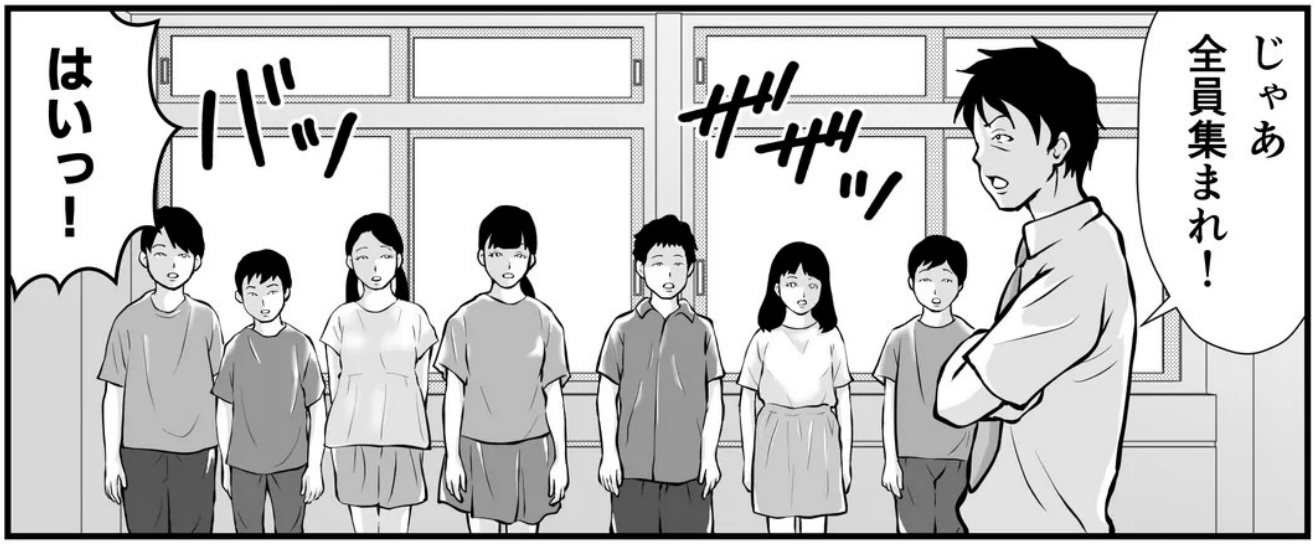

大人をナメた
ガキどもに
分からせるんだ
大人の恐ろしさを
教えてやるんだよ！

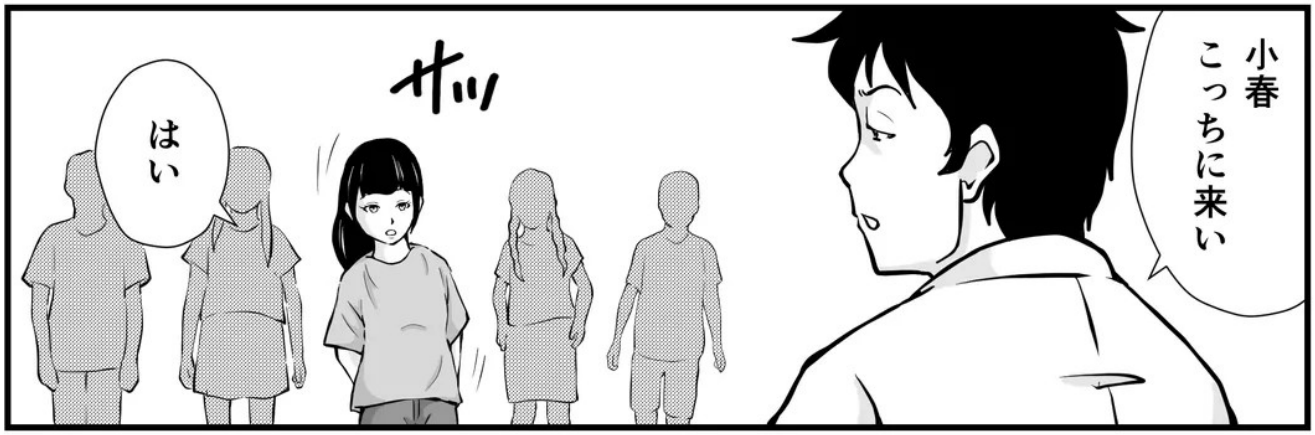

そうだ…
オレはこいつらに
苦しめられたんだ…
あぁ！
クソガキどもだ！
仕事も辞める
ところまで
追い詰められた！
ああ　そうだ！
許せねえよな？
ドドドドド


今まで
好き勝手に
やりやがって！
いいぞ！
怒りを爆発
させちまえ！
やってやる！
やり返してやる！
あぁ　やっちまえ！
こいつら
何もできねえよ
ゴゴゴゴ


で　どうする？
こいつらを
血祭りに上げるか？
いや
もっといいことを
思いついた
ほお♪
ニヤッ
ゴォォ


教室の後に
机を運ぶんだ
はい！
バッ
ガタ
ガタ
ガタ
ガタ
グッ


じゃあ
全員集まれ！
はいっ！
ザザッ
バッ

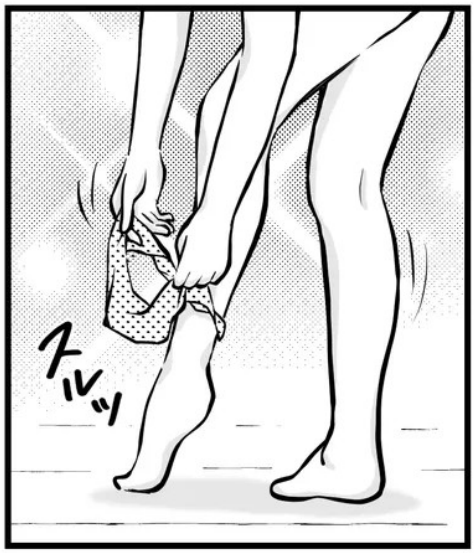

小春
こっちに来い
はい
サッ

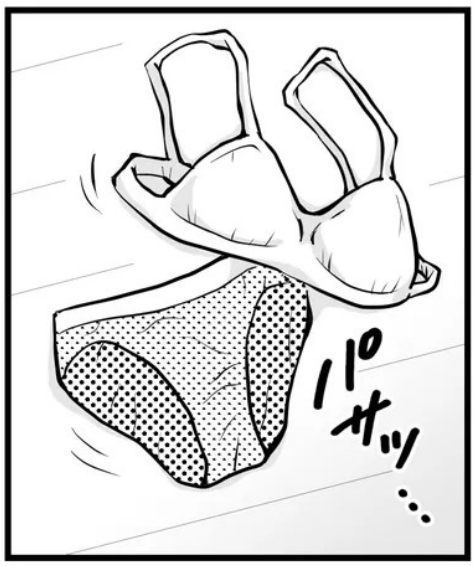

上杉 小春
こいつだ
こいつの
あの一言から
地獄が始まったんだ！


小春
服を脱げ！
はい
バッ
グッ


オレが
このクラスの
担任になって
数日後―
先生～！
バッ
そこ！
答えが
間違ってます
サッ
それから
先生の教え方
分かりにくい！
塾の先生の方が
教え方
上手いし
あ…
そうか
間違ってたか
ごめん
ごめん…
先生
まだ大学を
出たばかりで…
教え方が
まだまだ
下手なんだな…
ハァ…
先生
もしかして
Fラン大学って
やつですか？
ハアぺ…
ハハハッ！
ねぇ
何？
エフランって？
Fラン先生～♪
まずは
こいつから
やってやる！
オレに
よくも恥を
かかせてくれたな


先生…
全部
脱ぎました

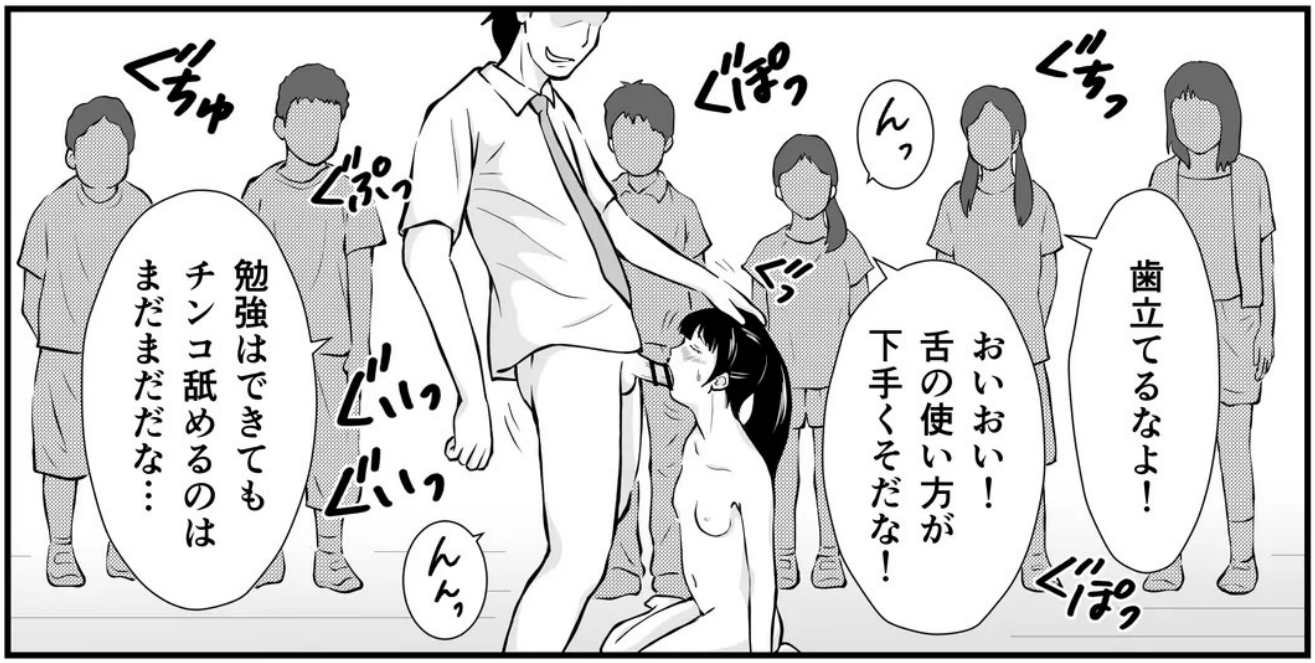

スルッ

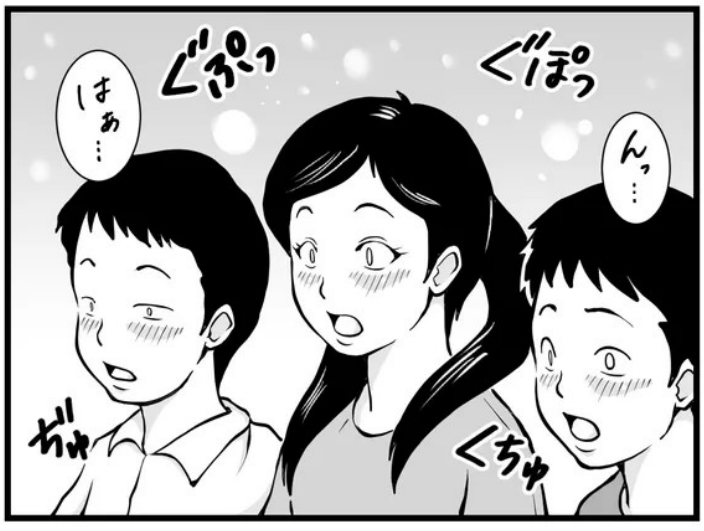

パサッ…


へへへッ
こんな命令にも
本当に従うんだな
生意気な
小春が裸に
イイ眺めだ♪
ニヤッ


じゃあ
さっそく
カチャ
カチャ
ジ～…
小春
そこに跪け！

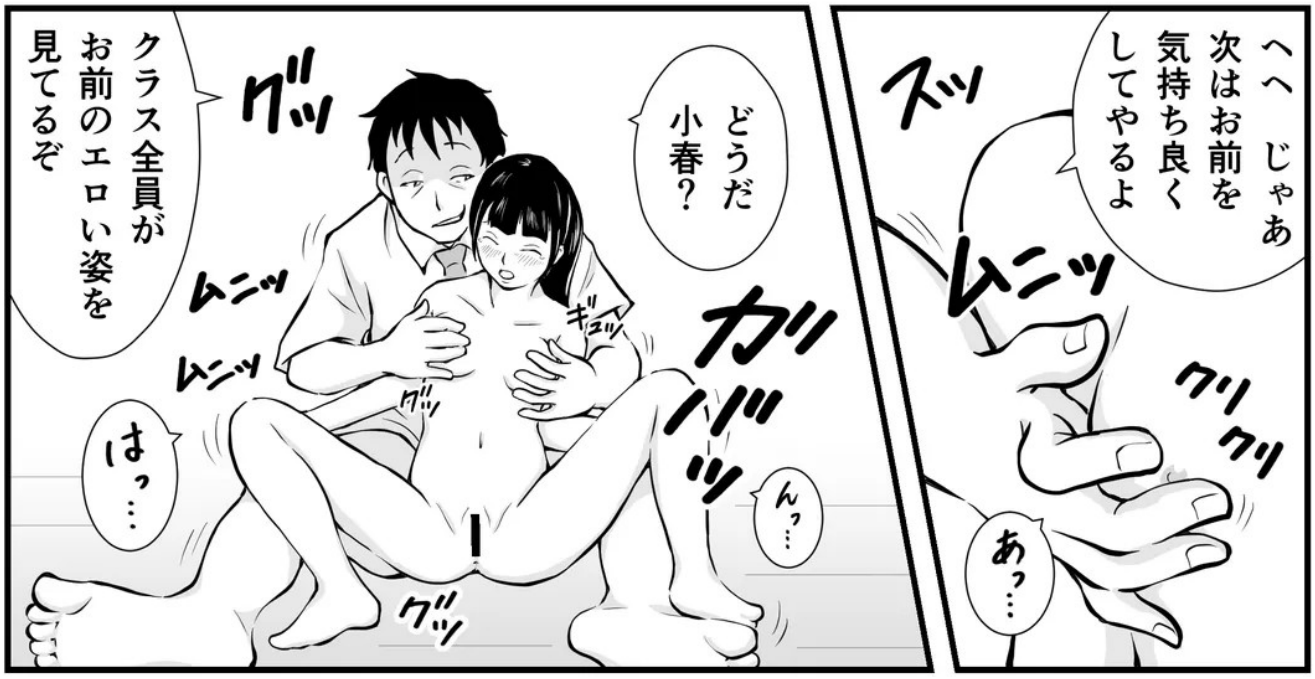

おらっ！
咥えろ！
ちゃんと
先生を
気持ち良くしろよ！
ガッ
ぐいっ
ぐぽっ
んぐっ

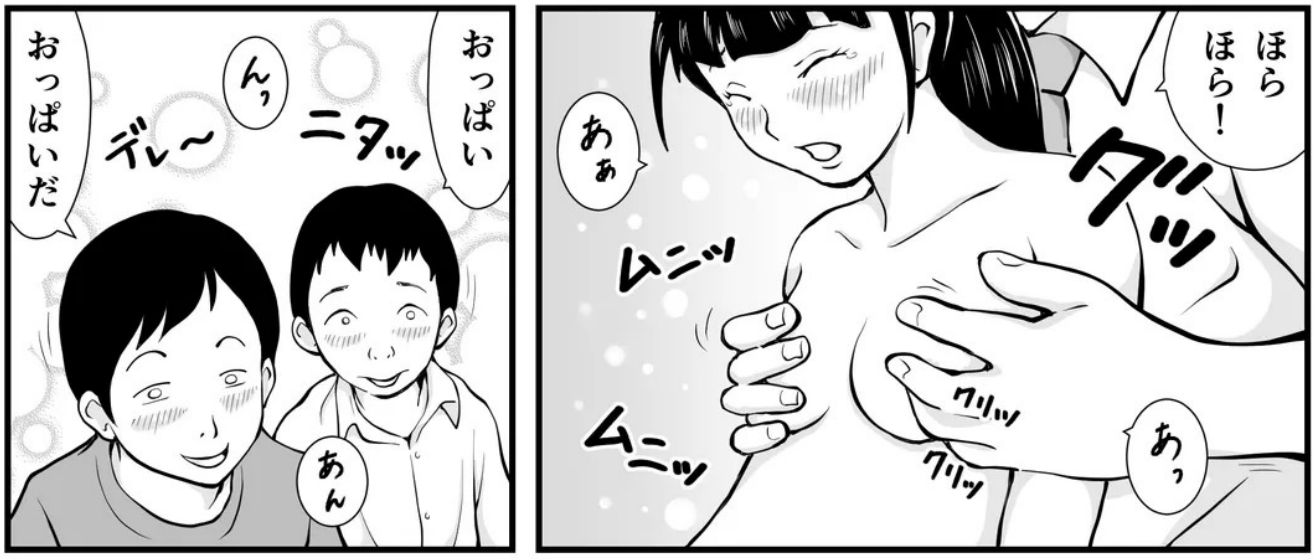

歯立てるなよ！
おいおい！
舌の使い方が
下手くそだな！
勉強はできても
チンコ舐めるのは
まだまだだな…
んっ
んんっ
ぐぽっ
ぐちゅ
ぐいっ


んっ…
はぁ…
ぐぽっ
ぐちゅ


へへへッ
見られながらの
プレイも
なかなか♪
イヤッ
ぐぽっ
ぐちゅ


小春！
もっとしっかり
しゃぶれよ！
はい
もっと
チンコに
吸い付け！
どうだ　小春
先生のチンコは？
はい…
おっきくて
とても硬いです
フハハ！
なかなか
面白いことを
考えたな
アウウウ
あぁ
こいつらのせいで
かなり溜まって
いたからな
おら　おらっ！
しっかり奥まで咥えて
気持ち良くしろよ！
んんっ
うっ…


へへ じゃあ
次はお前を
気持ち良く
してやるよ
スッ
ムニッ
クリクリ
あっ…
どうだ
小春？
グッ
カリ
ハッ
ムニッ
ムニッ
キュッ
グッ
んっ…
はっ…
クラス全員が
お前のエロい姿を
見てるぞ
グッ


ほら
ほら！
あぁ
グッ
ムニッ
クリッ
クリッ
ムニッ
あっ
おっぱい
んっ
ニタッ
デレ～
おっぱいだ
あん


おい 小春
男子がお前を見て
興奮してるぞ
あっ…
グッ
グッ
お前の
処女マ○コも
じっくり
見てもらえよ
クチャ

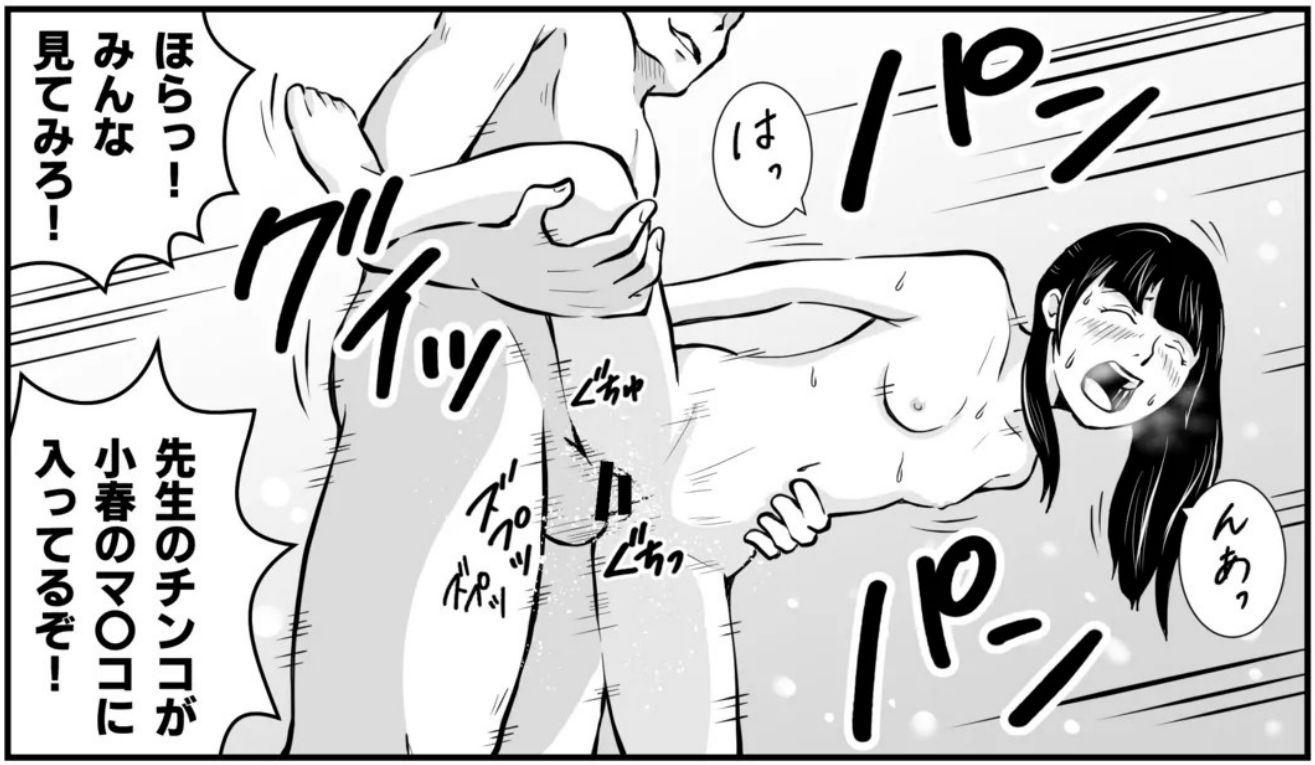

おらっ
サービスだ♪
あっ
ガッ
ハハッ
小春　お前
濡れてるぞ
グッ
んんっ
うぅ…
男子に見られて
お前も
興奮してきたか？
ヤベッ！
チンチンが…
マ…
マ○コだ…
あっ…
はっ
ビシ
バッ
ぐちゃ
ぐちっ
くちゃ
グリグリ


あ…
あああぁ～！
ぐちゃ
ぐちっ
ビクッ
ビクッ


ザッ
へへッ
そろそろ
やるか♪
アッ
小春
ケツ向けろ！
はい
ぐいっ
人生初の
生挿入がJSとか
サイコーだな♪
ヤッ
グッグッ
グイッ
お前のマ○コに
後から
ぶち込んでやるぞ
はい
お願いします
さぁ
入れるぞ
いくぞ♪
グッグッ
グッ
ギチッ
ぐちっ
ギチッ
うぐぅ…！
ズズズ
グッグッグ

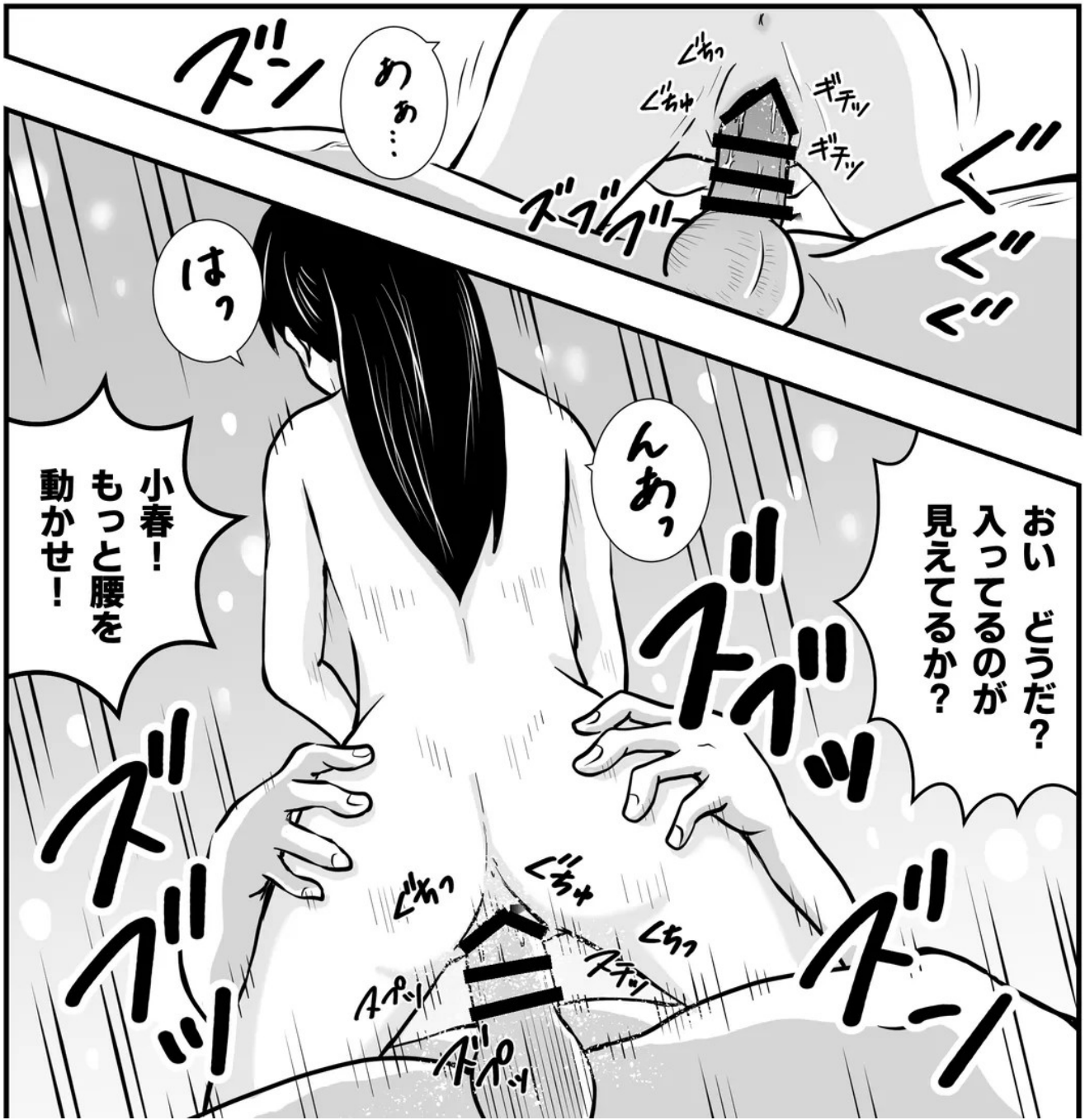

おおおお！
入った！
JSマ○コ
すっげぇ～！
くぁ～！
チンコ
喰われそう♪
ああ！
ズン
グッ
パン
ぐちっ
どうだ 小春？
先生のチンコ
気持ちいいだろ
うぐっ
おら
立てよ！
あっ
ガッ
ぬちっ
ワイッ


パン
パン
おうおう
どんどん
締まってるぞ♪
んあっ
あっ
ぐちっ
ぐちゃ
ぬちゃ
お前のマ○コ
しっかり先生の
デカいチンコを
咥え込んでるぞ♪


パン
パン
はっ
グイッ
ぐちゃ
ズプッ
ぐちっ
ほらっ！
みんな
見てみろ！
先生のチンコが
小春のマ○コに
入ってるぞ！
んあっ


しっかり
見ておけよ！
あっ
ぐちっ
パン
あん
はっ
ぬぷっ
ぐちゃ
パン
これが
セックスだ
保健のテストに
出してやるぞ


小春
次はお前が
上になれ！
みんなに
挿入してるところ
見せてやれ
はい
分かりました
グッ
ニヤッ


ズン
あぁ…
はっ
ぐぢっ
ぐぢゅ
ギチッ
ギチッ
ズブブッ
ぐぐぐ
おい　どうだ？
入ってるのが
見えてるか？
んあっ
ズブッ
ズブッ
ズーン
小春！
もっと腰を
動かせ！
ぐぢっ
ぐぢゅ
くちっ
ズチッ
ズポッ
ズポッ


ズブッ
ズン
あっ
はぁあ
ガッ
ぐちゃ
ぐちゃ
ブチッ
ブチッ


おらっ
おらっ！
どうだ？
ああっ
んんっ
グッ
ズン
パン
ぐちゃ
ブチッ
ぐちゃ
デカいチンコで
突き上げられて
気持ちいいだろ？


あ…　あっ
は　はい…
気持ちいい…
ビクッ
ビクッ
ズブッ
ズブッ
先生のおっきな
おちんちんが…
突き刺さって
気持ちいい！
ぐちゃ
ぐちゃ
パン
ズン


へへッ　そうか
先生のチンコが
気に入ったか♪
お前
変態ＪＳだな！
じゃあ　最後に
小春の変態マ○コに
先生の精子を
くれてやるぞ！
ズブッ
グリイッ
ビクッ
ビクッ
あぁあ
ぐちっ
ぢゅっ
ぐちゃ


ハァ　ハァ…
オレも
中出しなんて
初めてなんだよな
妊娠しても
オレは責任
とらねぇぞ
パン
パン
パン
んあっ
ぐちっ
ぐちゃ
ぬちっ


パン
ズブッ
ぷるっ
ぐちっ
ぐちゃ
ぬちゃ
パン
ギュッ


おらっ
おら――！
へへへ！
もうマ〇コ
グチャグチャだぞ！
パン
パン
んあっ
グッ
ぬちっ
グッ
ぐちゅ
ぐちっ
ばん
ズン
グッ
ズブッ
ズブッ
あん
ぐちっ
ぬちっ
ぐちゅ
先生…
すごい…
先生の
おちんちんで…
もっと… たくさん
突いてください！
ビクッ
ズブッ
ぐちゅ
ぐちっ


うへへへっ
ズブッ
ズブッ
グッ
小春
お前も素直に
なったな
じゃあ
お望み通り
激しく突いて
やるよ！
パン
あぁ
グッ
ぐちゃ
ぐちっ
ぐちゃ
ぬちゃ
ズブッ
パン
マ〇コの奥で
しっかり
先生のチンコを
味わえ！
おい！
こっちに来いよ！
面白いもの
見せてやるよ
はい！


ズコ
ズコ
ズコ
ぐちっ
ぐぽっ
ズプ
小春！
いくぞ
中出しするぞ！
は　はい…！
出してください
パン
パン
みんな
ちゃんと
見てるか？
はい　先生
ちゃんと
見てます
よし！
今から先生が
小春のマ〇コに
精子を出すからな！
あっ
ぐちゅ
ぐちっ
ぬちゅ
んっ
ズプ
ズプッ
うう…
グッ
ゾグッ
ゾグッ
ああ
あぁ
——！

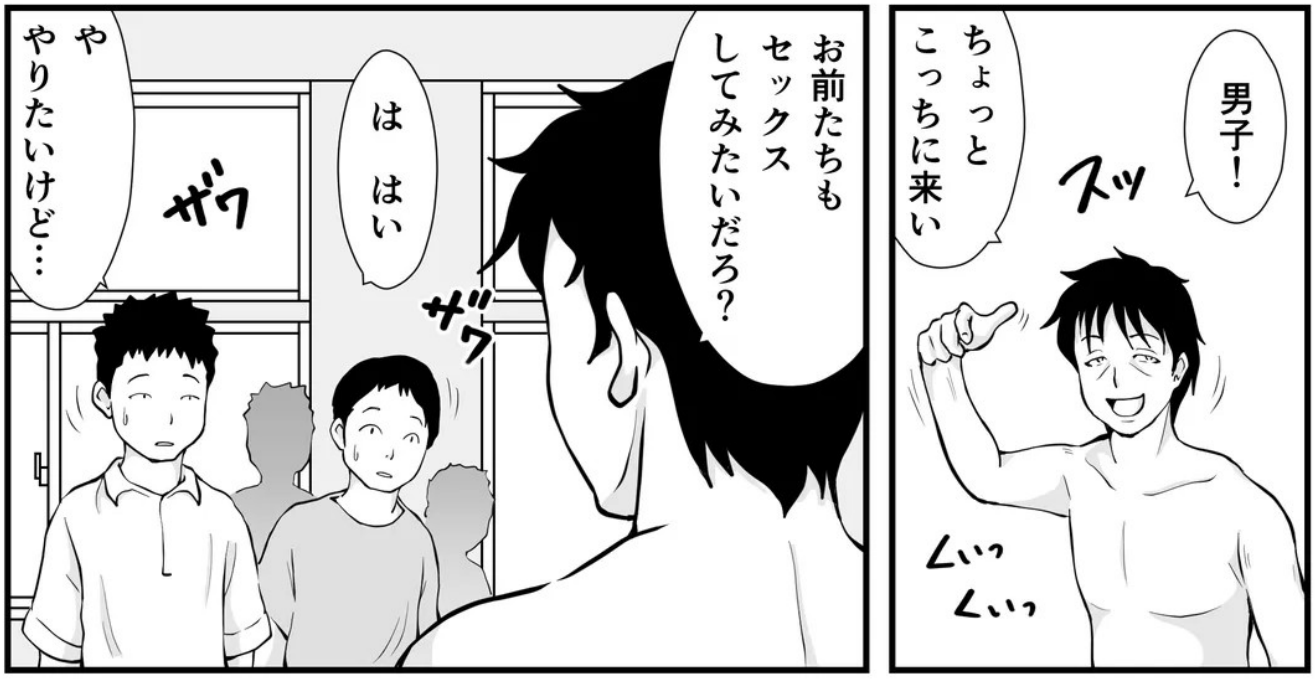

うおおぉ――！
ビュル
ビュル
ビュッ
ハァ～！
出てる！
とまらねぇ！

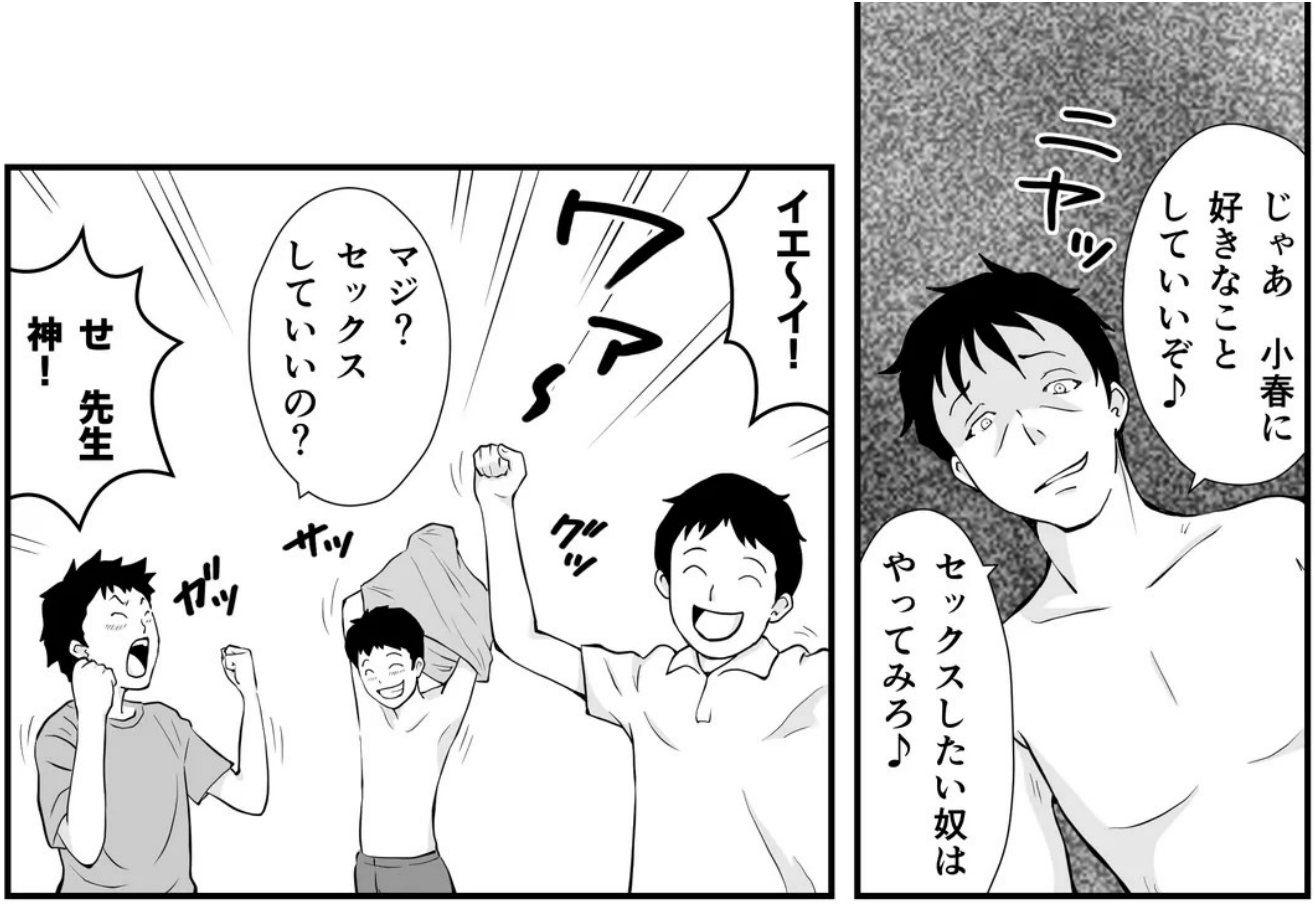

どうだ？
ちゃんと見てたか？
これが
セックスだぞ♪
スッ
うわ～
初めて見た
すご～い
ニャ～
すごいだろ？
生意気な
小春のマ○コに
たっぷり精子を
出してやったぞ
じ～
先生のチ○コ
ビクビクしてる
すっげ～
精子だ～
ビッ
ドクッ
ドクッ


ハァ…
ハァ…
ハァ…
ハァ
ハァ
ゲク…
ぬぽっ
ドロ…
小春さん
気持ち良かった？
先生の
おちんちん
よく入ったね
精子が
出てきてる～
ニヤ
ニヤ
じ～
小春
ボ～っと
してないで
先生の
チンコを
キレイにしろよ！
グッ
はい…
すみません…
ズッ
ペロペロ
グッ
へへへッ
やっぱり
セックスの後は
お掃除フェラだな
んんっ
グイッ
ズッ
ん…
じゅぽっ

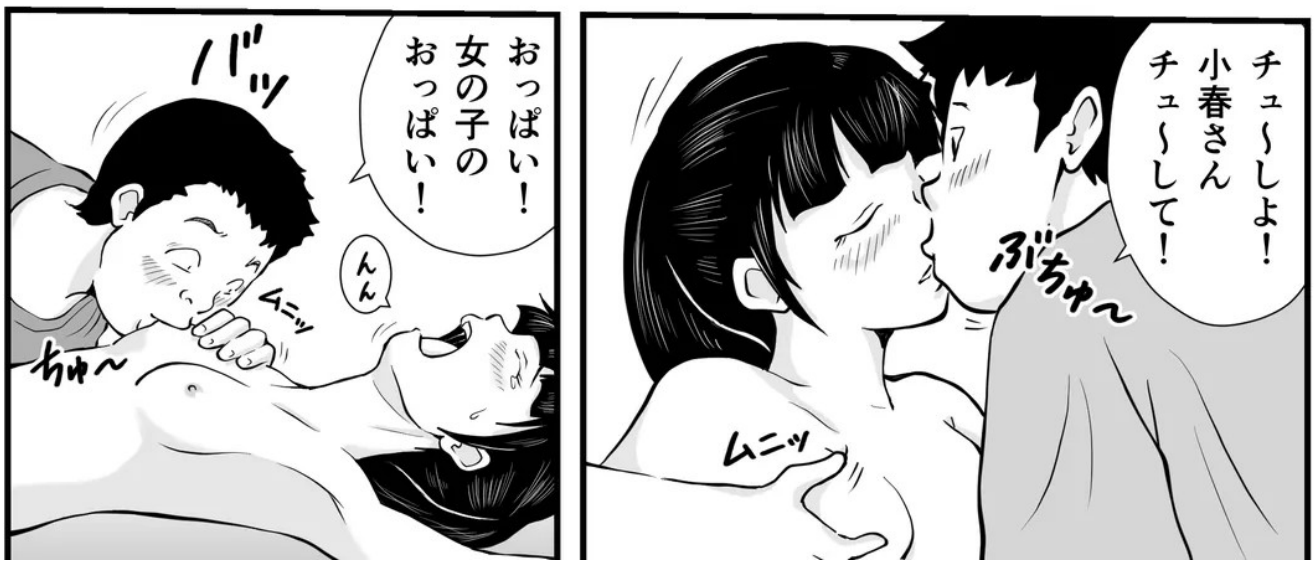

フハハ！
どうだ？満足したか？
バカ言え！
まだまだやってやる！


—とその前に休憩も兼ねてショータイムだ
フハハ！面白そうだな


男子！
ちょっとこっちに来い
お前たちもセックスしてみたいだろ？
はいはい
やりたいけど…


じゃあ　小春に
好きなこと
していいぞ♪
ニヤッ
セックスしたい奴は
やってみろ♪
イエ〜イ！
ワァ〜
グッ
マジ？
セックス
していいの？
サッ
ガッ
せ　先生
神！


ガッ!!
ムニッ
あっ
うわ〜
小春さんの
マ〇コ♪
ワイ〜
サッ
ガッ
おっぱい
おっぱい！
ハッ
ヌッ
おいっ！
ボクも
触らせてよ！


チュ〜しよ！
小春さん
チュ〜して！
ぶちゅ〜
ムニッ
おっぱい！
女の子の
おっぱい！
バッ
んん
ムニッ
ちゅ〜


小春さん
チンコ
触ってよ！
ほらっ！
しゃぶって
ぐいっ
ぱくっ
ぐぽっ
ギュッ
グイッ


次　オレ！
もうチンチン
大きくなったよ
小春さん
チンチン
舐めてよ！
おい！
オレも
やらせてよ！
すっげぇ～
本当にチンコ
舐めてるよ♪
グッ
ペろっ
ギュッ
グリグリッ


オ　オレ
一番～！
ど　どこに
入れるの？
ココ…
ココに
入れて…
よ　よし…
いくぞ…！
ぐいっ
グッ

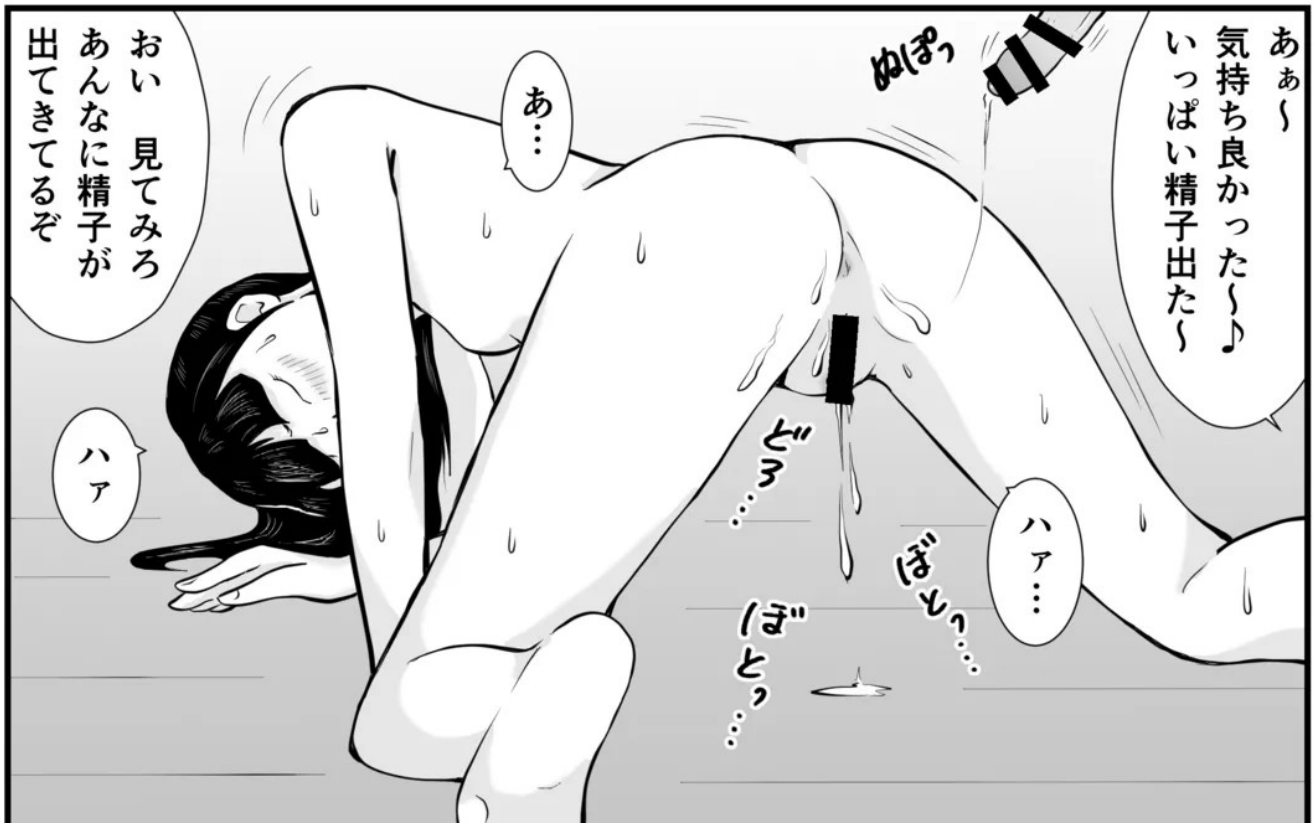

うわっ！
チンコ
入ったぞ！
ズプッ!!
あ…
ぴゅっ
ぴゅ
ぴゅ
ぐちゅ
き　気持ちいぃ～！
あっ　あ…
何かチンコから出た…

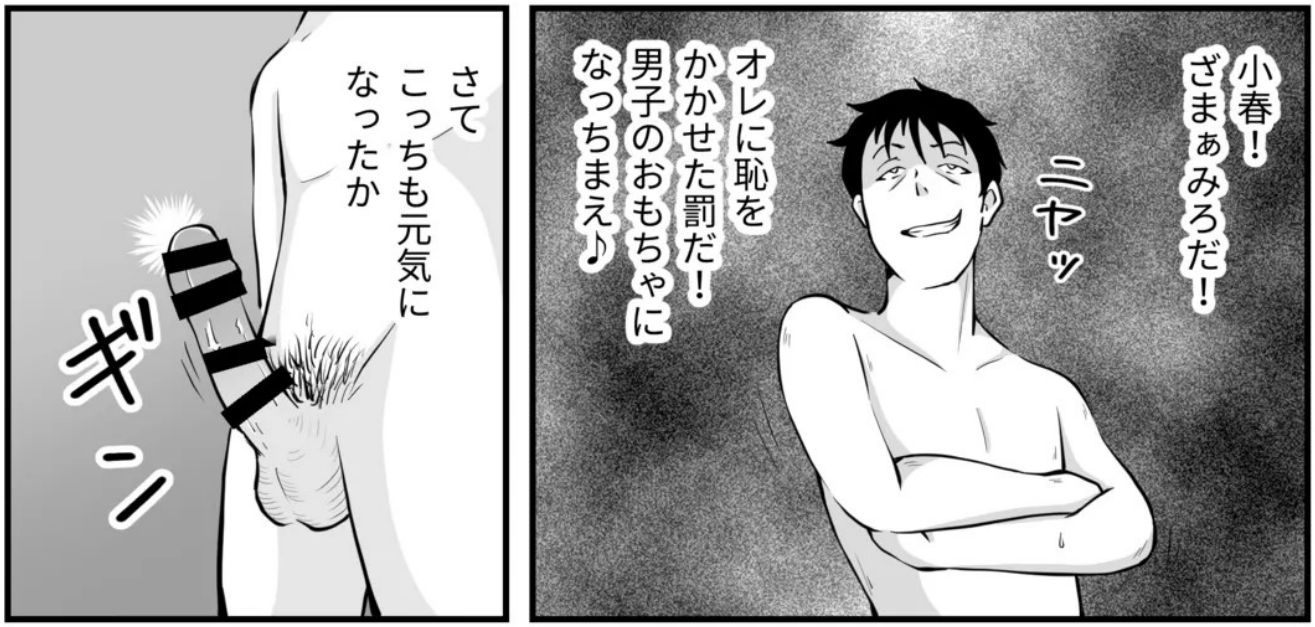

小春さん
すげ～
腰振ってる！
あっ！
精子出る！
んあっ
ズプッ
ぴゅ
ぴゅ
びゅる

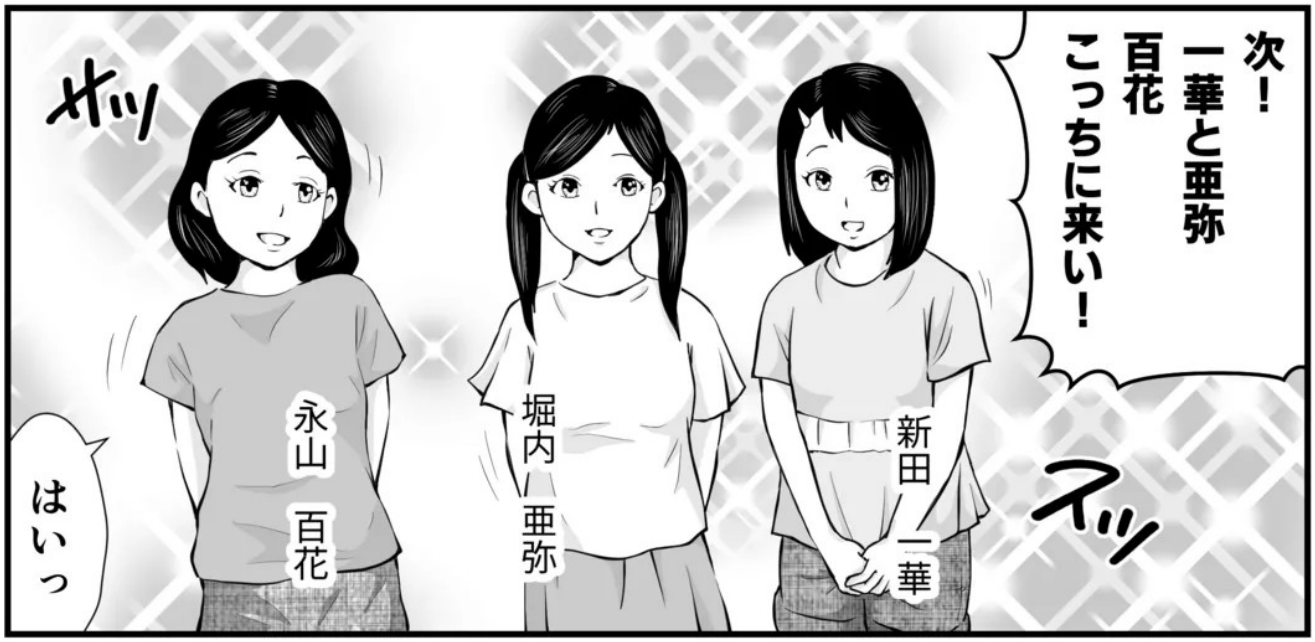

もうガマンできない！
オ　オレも
セックスやらせて！
ズプッ
ズプッ
はっ
ぐちゅ
ぐちゅ
あん
パン
パン

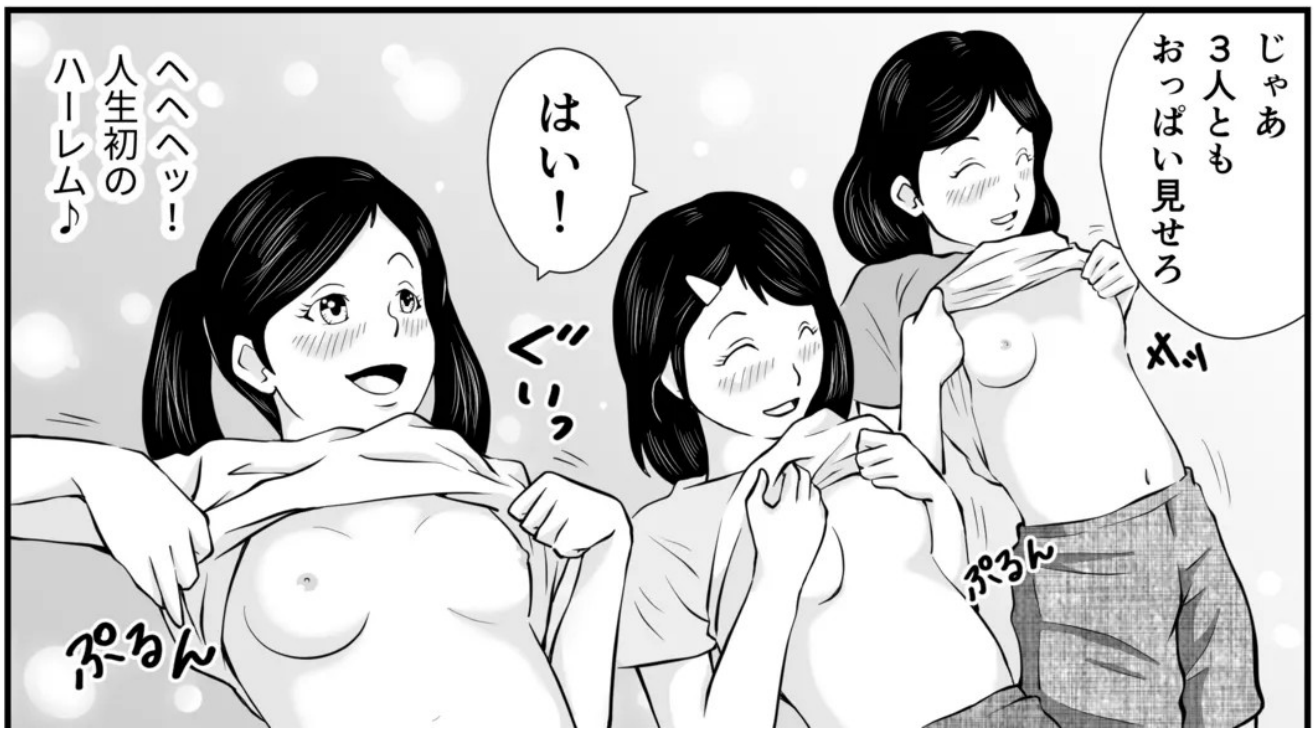

ぐちゃ
ぐちっ
ぬちゃ
んぐ…
あ　あっ…
気持ちいい
気持ちいい～！
ぐぽっ
じゅぽ
ぐぽっ
んっ

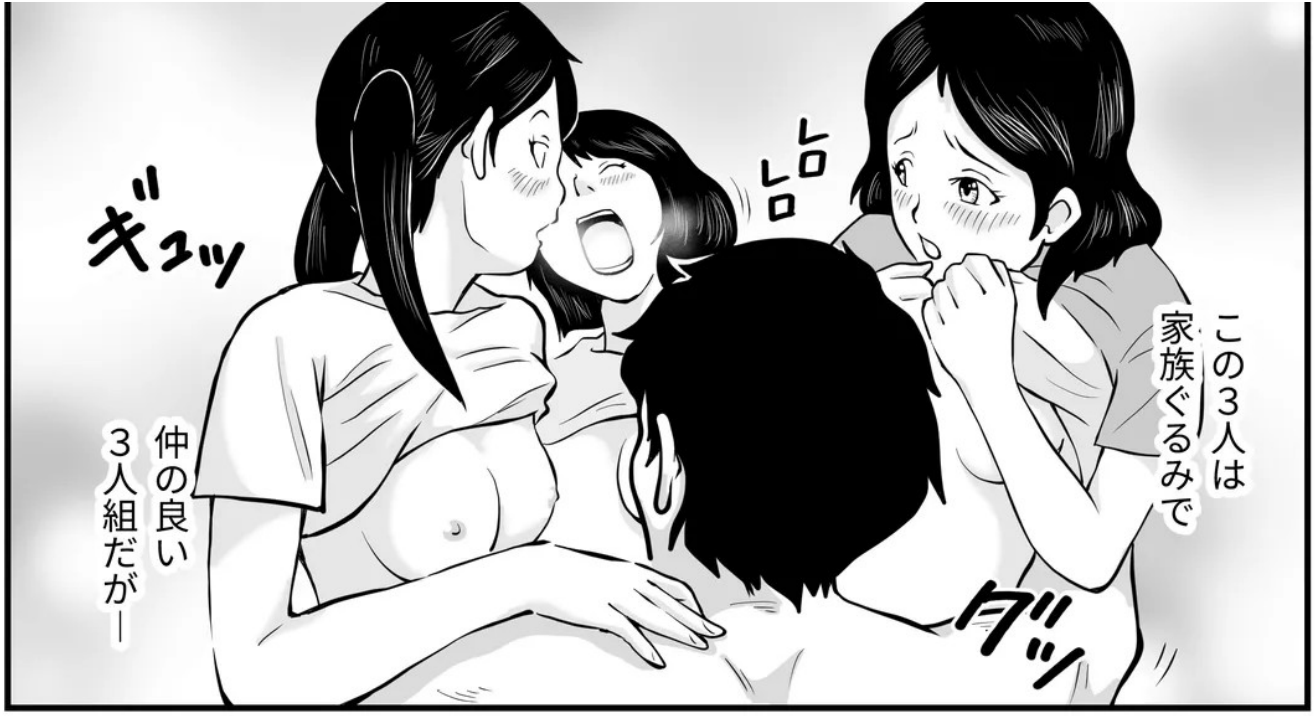

フハハ！
こいつは
面白いショ―だな
ズオオ
はぁん
ニヤッ
あっ
そうだろ？
6年生同士の
乱交なんて
なかなかレアだぞ♪


あぁ～
気持ち良かった～♪
いっぱい精子出た～
ぬぽっ
あ…
ハァ…
どろ…
ぼとっ…
ぼとっ…
おい　見てみろ
あんなに精子が
出てきてるぞ
ハァ

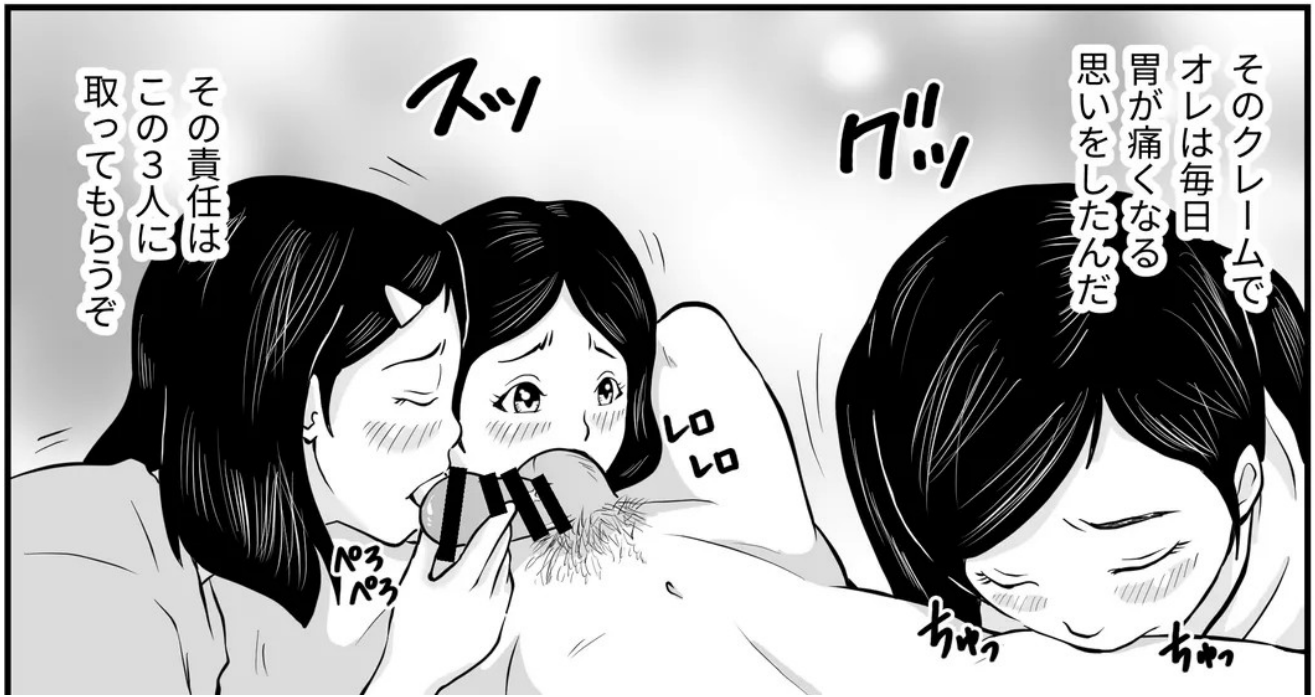

小春！
ざまぁみろだ！
ニヤッ
オレに恥を
かかせた罰だ！
男子のおもちゃに
なっちまえ♪
さて
こっちも元気に
なったか
ギン


次！
一華と亜弥
百花
こっちに来い！
スッ
新田 一華
堀内 亜弥
永山 百花
サッ
はいっ


じゃあ
3人とも
おっぱい見せろ
メッ
はい！
ぐいっ
ぷるん
ぷるん
へへへッ！
人生初の
ハーレム♪

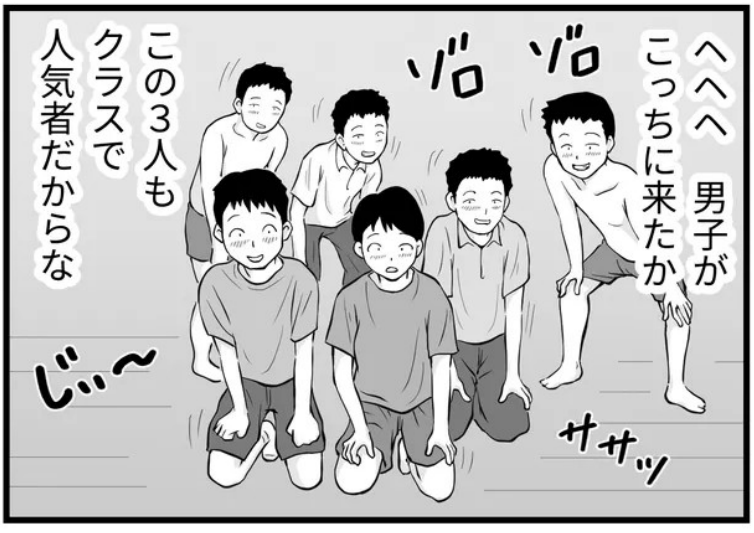

この3人は
家族ぐるみで
仲の良い
3人組だが―


こいつらの
保護者は
学校でも有名な
クレーマーだ
何かあると
すぐに
クレームの嵐―


そのクレームで
オレは毎日
胃が痛くなる
思いをしたんだ
その責任は
この3人に
取ってもらうぞ

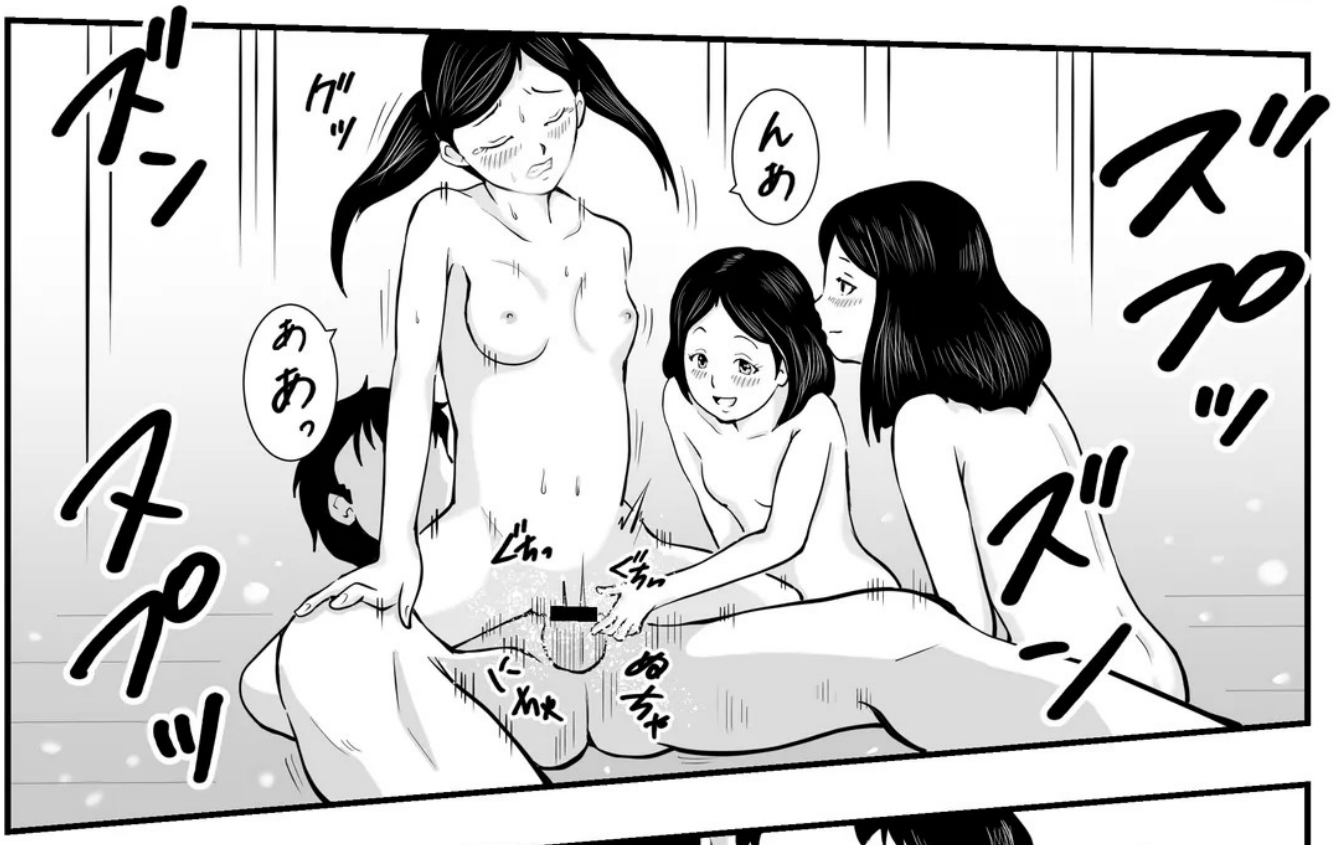

サッ
グイッ
ズズズ
じゃあ順番に
お前たちの
マ○コに
ぶち込んでやる！


百花！
もっと激しく
腰振れよ！
ズーン
あん
ズプッ
はいっ！
一華と亜弥は
先生の体に
キスしろ！
ちゅ〜
はい！
ズプッ
グッ
ギチッ
ぐちゅ
ぐちゅ


へへへ　男子が
こっちに来たか
この3人も
クラスで
人気者だからな
じ〜
ゾロ
ゾロ
ササッ


ハハッ
ガマンできずに
オナニーか
シコ
シコ
シコ
ぐりっ


おおぉ～♪
やっぱりＪＳの
マ○コは
最高だな♪
お前たちも
すぐにチンコを
入れてやるからな♪
はっ
あぁ
パン
パン
ズプ
ズプ
ズプ
グッ
ぐちゃ
ぐちゃ


んあ
あぁっ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
グッ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぬちゃ
にゅる

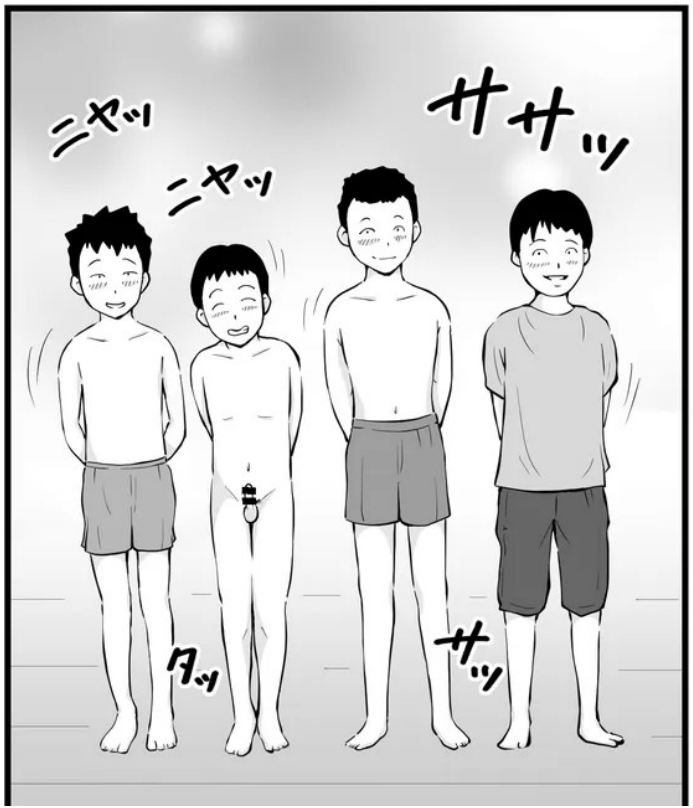

ズプッ
ズプッ
グッ
レロ
レロ
ぐちゃ
クリ
クリ
ギュッ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐぐっ!!


ハァ ハァ…
もうそろそろ
イキそうだ…
亜弥
最後はお前が
先生の精子を
飲むんだ！
ハァ ハァ
わ…
分かりました
出すぞ
出すぞ！
出るぞ！
口開けろ！
全部飲めよ！
は…
はい…
おらっ！
飲め！
飲めっ！
んん…
ごふっ…


はぁ…
あ…
ドッ…
ドッ…
はぁ…
はぁ
あ…


ふ〜…
なかなか
ハーレムも
良いもんだな♪
ズズズ
フハハハ！


おい
さっきから
あのガキどもが
待ってるぞ
アッ！


ニヤッ
ニヤッ
ササッ
タッ
サッ


ニタ～
お～い！男子
好きにやっていいぞ
よっしゃ～
ダッ
タッ
ドドドドド
やった！
あっ
ちゅぱ
ちゅっ
レロレロ
んほっ！
ん
やった一華さんとセックス！
あん
ぬちゅ
くちゅくちゅ
一華さんのマ〇コ♪
亜弥さんのおっぱいやっぱり大きくてやわらかっ！
んっ
グッ
ぐい
ああぁ～めっちゃ気持ちいい！
ぐぽっ
ぐぽっ
グイッ
ムニムニ
んん…
シコシコ


百花さんの
マ○コ
一番乗り～！
おっぱい
サイコー♪
あぁん
モミモミ
ギュッ
シコ
ガッ
グッ
ぐちゅ
クパッ
クパッ


あぁ～！
亜弥さんの
マ○コ
サイコ～！
ん…
レロレロ
ぐちっ
ぐちゅ
パン
パン
パン
ズプッ
ズプッ
ギュッ
シコシコ
おいっ
亜弥さん
マジでエロいよ

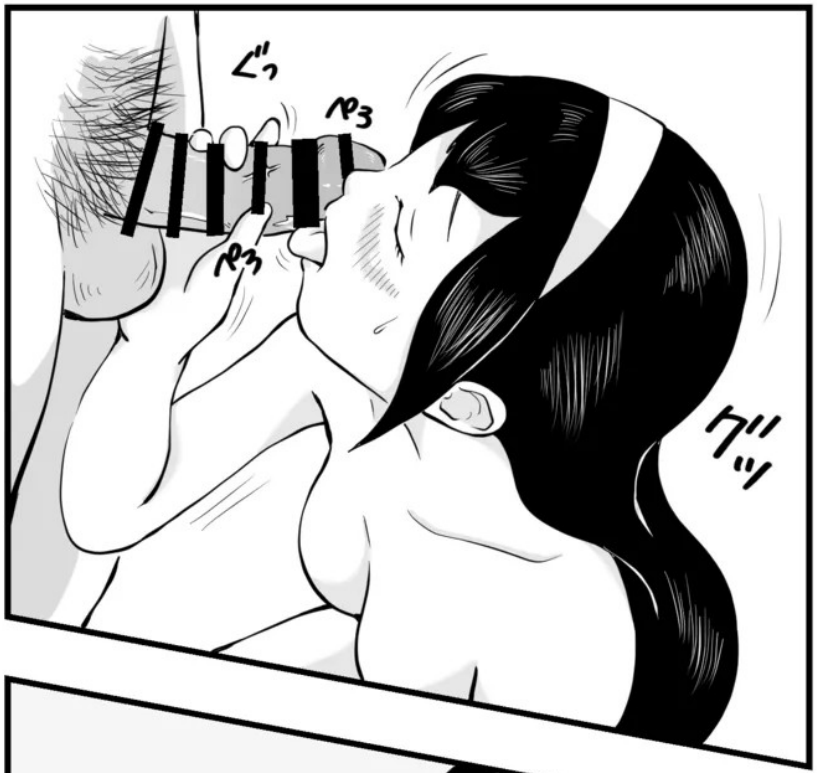

ああああ～！
一華さん！
大好き
大好きっ！
うっ…
ムニ
ムニ
ムニ
グッ
ズコッ
ズコッ
ガッ
ぐっ…
ガッ
あっ…
あぁぁぁ！
出てる！
精子が
出てるよ！
びゅるびゅるびゅる


フハハ！
ガキどもの性欲も
すごいな！
ズオオ
ニヤッ
ハハッ
しっかり
楽しめよ
さて…
次は…
おい！
莉奈！
ガッ
服を
脱いで
こっちに
来い！
おい！
次は
莉奈さんだぞ！
はい
グッ
先生…
脱ぎました…
うわ～♪
莉奈さん
裸だ！
サッ
後藤　莉奈
このクラスで
一番のお気に入り
だったのに…


ねぇねぇ
莉奈ちゃんのこと
聞いた？
ザワ
ザワ
何
何？
何だ？
莉奈…？
莉奈ちゃん
また告白
されたんだって
へえ～
莉奈ちゃん
モテるもんね
あ　でも
莉奈ちゃんって
2組の海斗君と
付き合ってるって
聞いたよ
あ　それ
私も聞いた
ハ…？
莉奈に
彼氏がいる？
オレが
苦しんでるのに…
莉奈ちゃん
かわいいし
海斗君も
かっこいいから
お似合いだよね
ふざんけんな…
莉奈はオレの
お気に入りだぞ！


ペろ
ペろ
ペろ

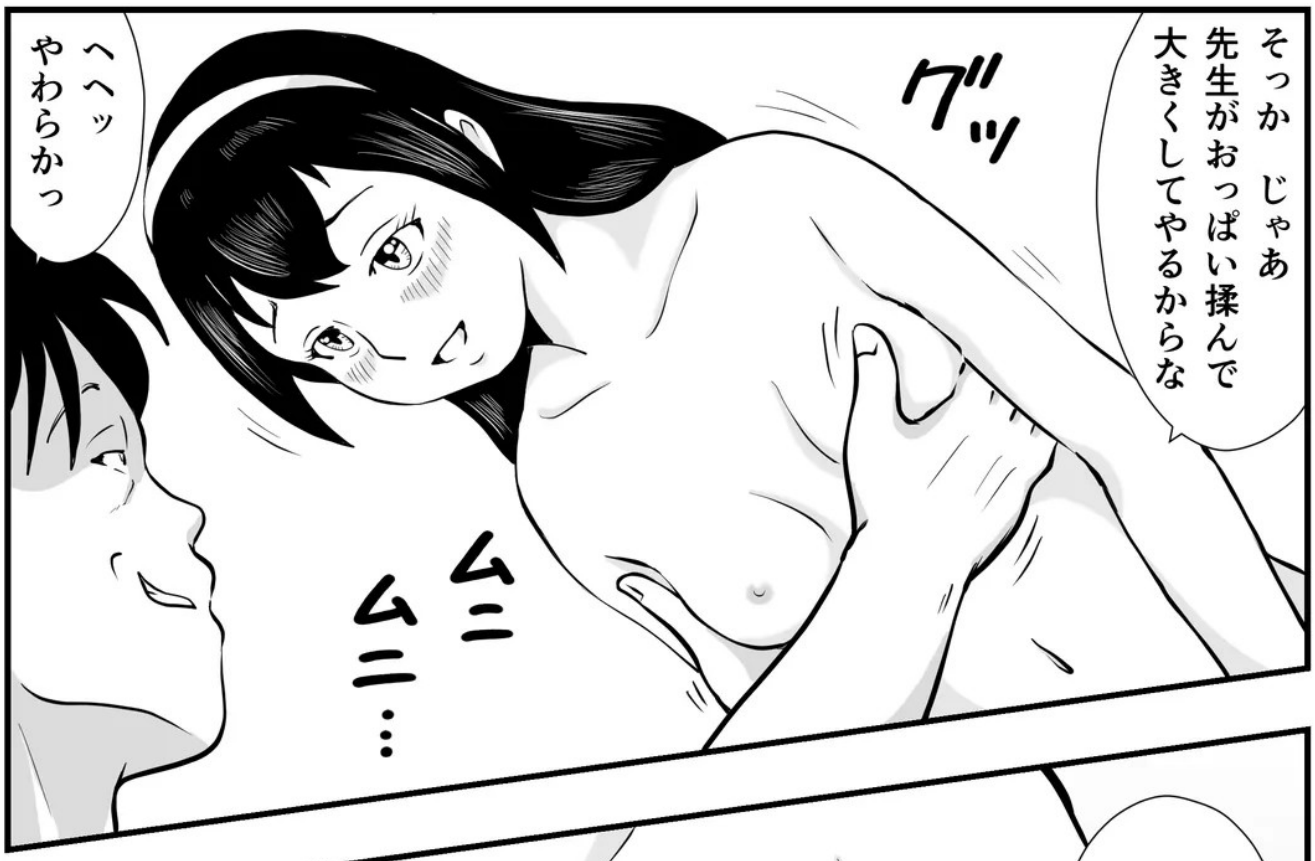

へへッ
グッ
ぐっ


ぐっ
ペろ
ペろ
グッ


ガッ
ぐぽっ
ぐぽっ
んぐっ
ぐぽっ
ほら
こっちも
舐めてくれ
ぐぽっ


そうだ
先生の顔を見ながら
しゃぶってくれ
はい
ぐぽっ
ぐちゅ
ぐちっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐっ
ぐいっ
莉奈は
オレのオンナだ
誰にも
渡さないぞ！


莉奈
最近おっぱいが
膨らんできたな
はい
ムニ
ムニュ
まだまだ
おっぱいを大きく
したいだろ？
はい


そっか　じゃあ
先生がおっぱい揉んで
大きくしてやるからな
グッ
ヘヘッ
やわらかっ
ムニ
ムニ…

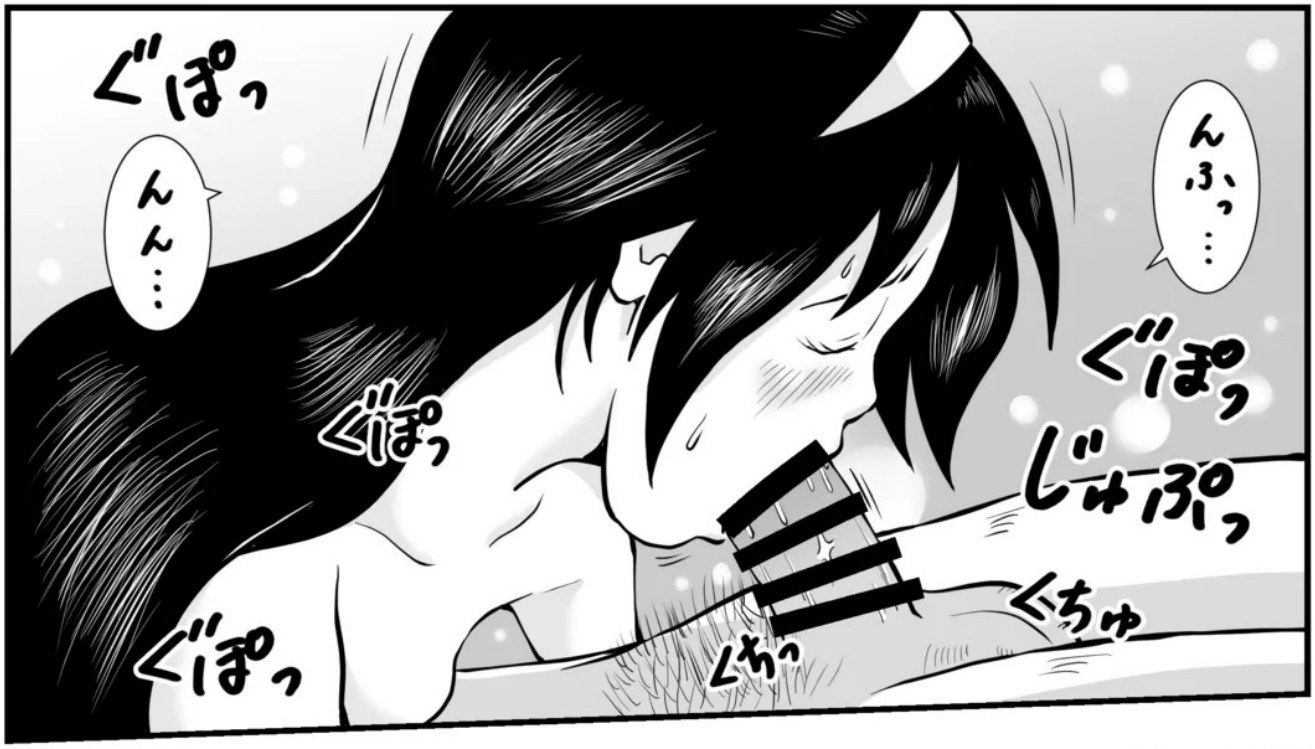

おいおい
乳首が立って
きてるぞ
あっ…
クリ
クリッ
んん…
莉奈は
エロい女の子だな
ムニ…
クリ

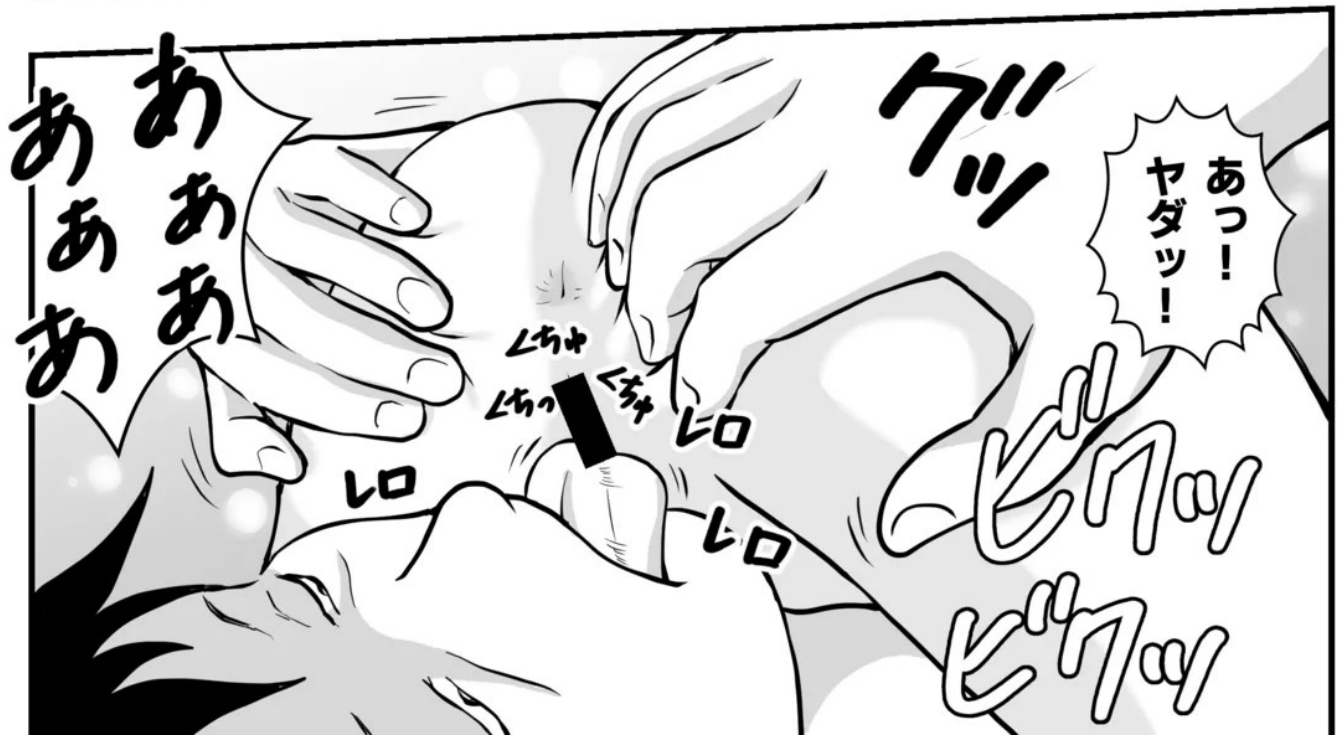

いただきま～す♪
あっ
グッ
ちゅぱ
ちゅぱ
あぁ～
JSのおっぱい
うめぇ～！
ちゅ～
ちゅ
ちゅ

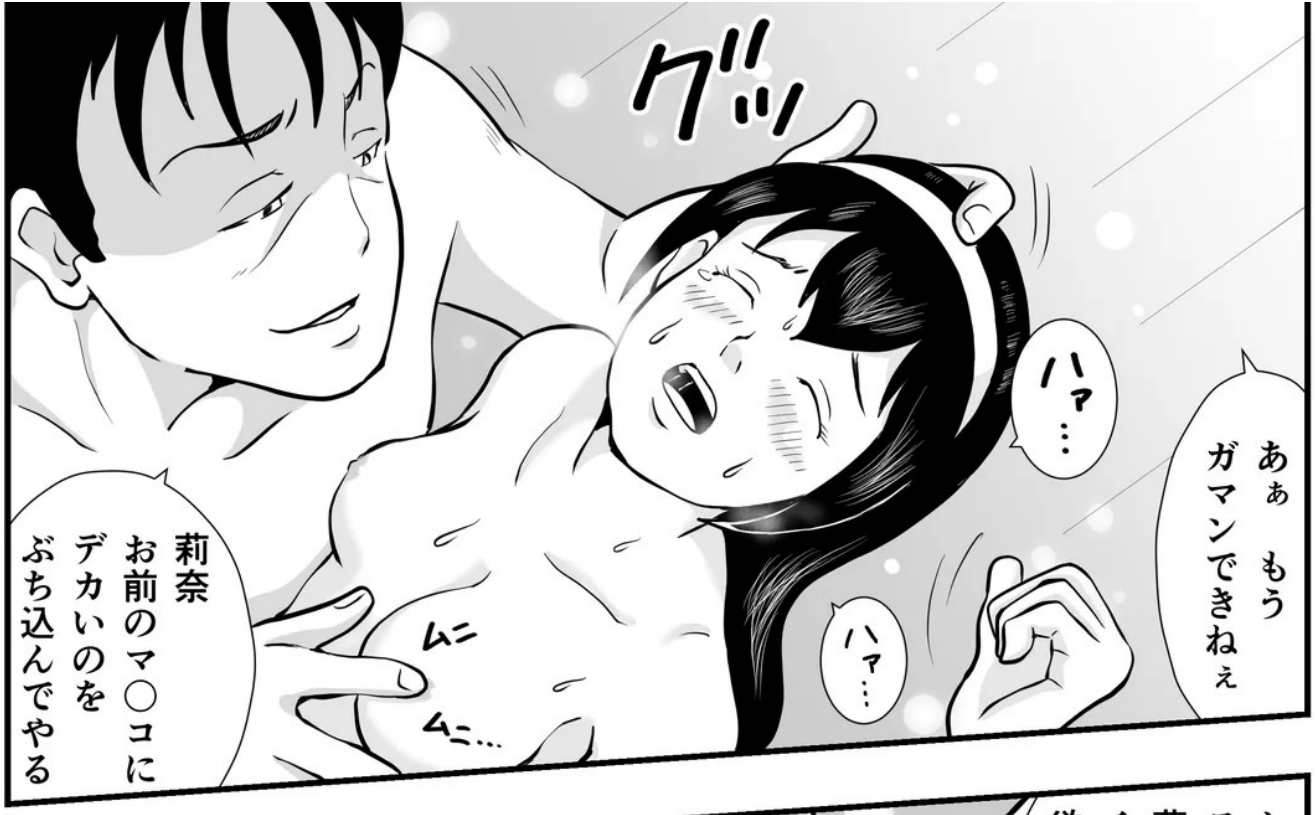

ちゅ
ちゅぱ
ちゅぱ
あぁ…
莉奈
おっぱいで
先生の顔を
挟んでくれ！
はい
レロ
レロ
レロ
あっ
ムニ
グッ
ムニ


よし　今度は
先生のチンコを
おっぱいで挟んで
ぐぐっ
ぐいっ
おぉ～
JSのパイズリ♪
エロッ～！
ぐぐっ
ムニ
ムニ
ムニ
ムニ
ぐっ
膨らみかけの
おっぱいが
やわらかくて
サイコーだな！
莉奈　こっちに
ケツ向けろ
お前のマ○コ
舐めてやる
はい
ぐいっ
グッ
クリッ
ムちゃ
ムちゃ


グッ
ん…
グイッ
んん…
ムちゅ
ムちゅ
ガッ
ぐぽっ
ぐちゅ
じゅぼ

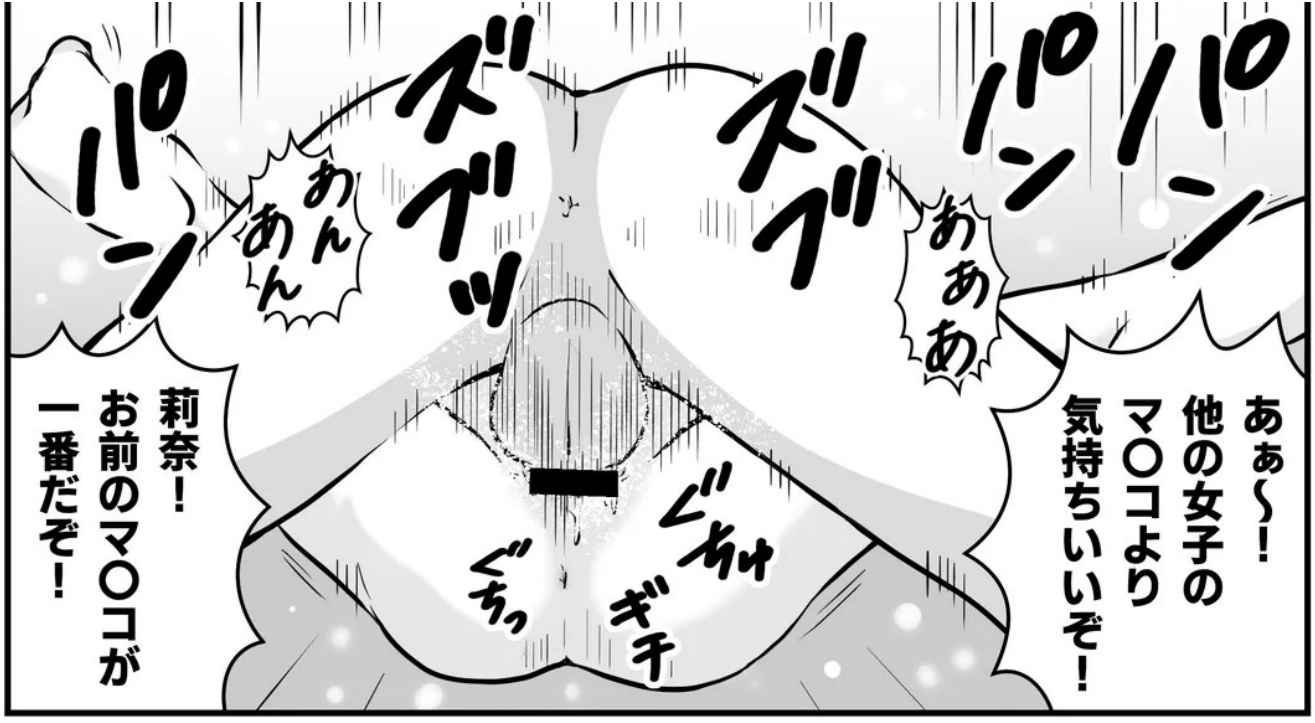

んふっ…
ぐぽっ
んん…
ぐぽっ
じゅぽっ
ぐぽっ
ムちゅ
ムちっ


あっ！
ヤダッ！
グッ
あああああ
ムちゅ
ムちっ
くちゅ
レロ
レロ
レロ
ビクッ
ビクッ


あぁ　もう
ガマンできねぇ
ハァ…
ハァ…
莉奈
お前のマ○コに
デカいのを
ぶち込んでやる
グッ
ムニ
ムニ…


おぉ～　もう
ヌルヌルだな
莉奈も早く
チンコが
欲しいんだな？
あっ…
いいか　莉奈？
お前の初めての男に
先生がなってやる
一緒に気持ち良く
なろうな♪
グッ
ムちっ
ぬちっ
グイッ

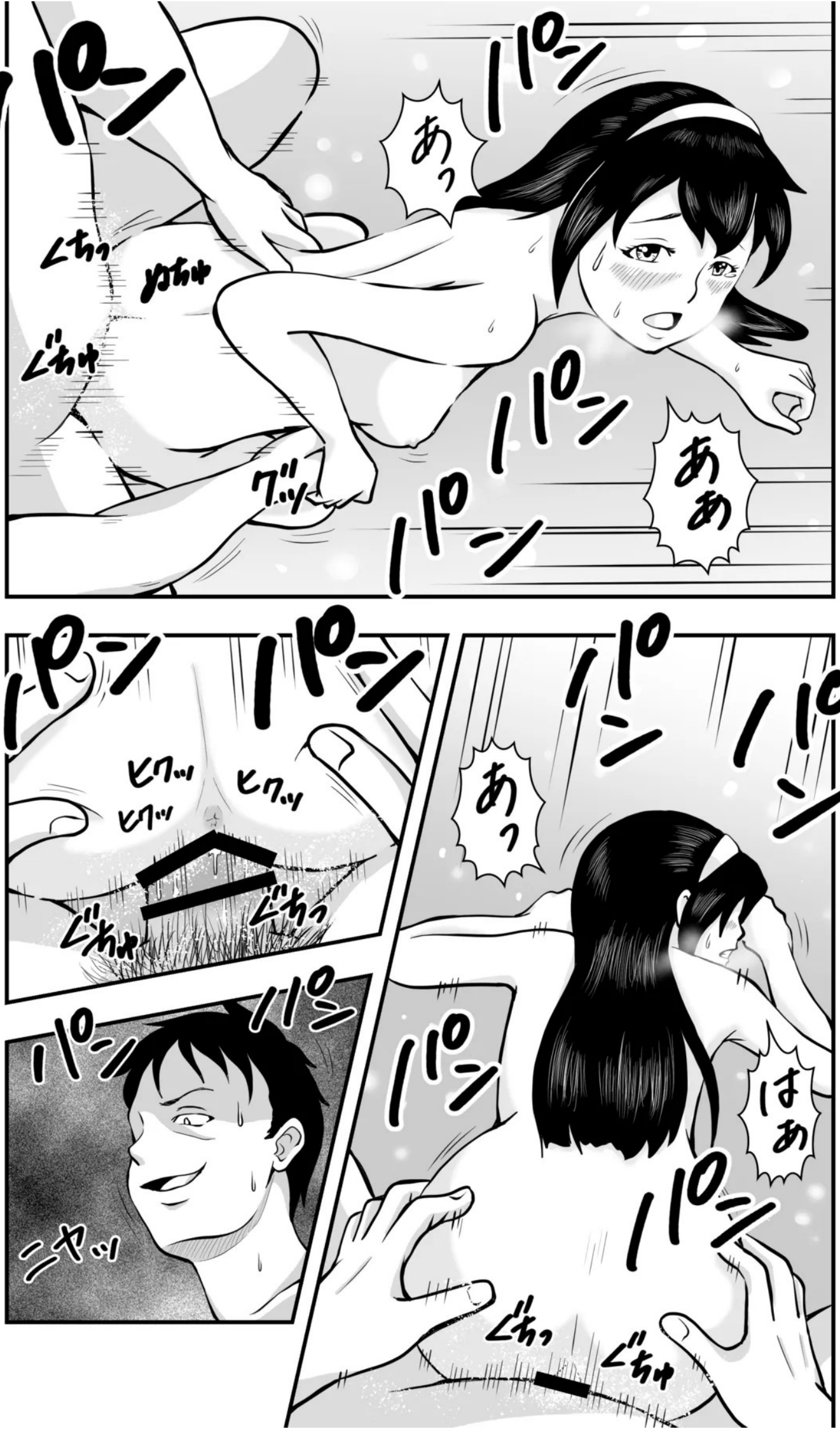

おら～！
入れ～！
うおっ！
入った～！
莉奈
処女卒業
おめでとう！
グッグッ
ギチッ
ミチ
ミチ
グッグッグッ
ビクッ


あぁ～！
他の女子の
マ○コより
気持ちいいぞ！
パン
パン
ズブッ
ズブッ
あぁあ
あんあん
パン
莉奈！
お前のマ○コが
一番だぞ！


どうだ　莉奈？
先生が最初の男で
うれしいだろ？
ズブッ
は　はい…
うれしいです
グッ
そうか…
先生はこのクラスで
お前が一番かわいいと
思っていたんだ
お前のマ○コは
先生専用で
毎日使ってやる
ドッ
グッ
ズブッ
ズブッ


ズブッ
ズブッ
ズン
ズン
ズプッ
あぁっ
はぁん


ズン
ユサッ
ユサッ
グッ
莉奈
コレ どうだ？
お 奥に…
奥に当たる…
グッグッ
ズブブ…
グッグッ
ぐちっ
ギチッ
あぁ…
次はバックで
入れてやるぞ
うぐ…
おぉ！
締まる
締まる！
パン
パン
パン
ああああ
ズッ
グッ
ぐちゃ
ぐちっ


パン
あっ
ムちっ
ぬちゅ
ぐちゅ
グッ
ああ
ヒクッ
ぐちっ
ニヤッ
はあ

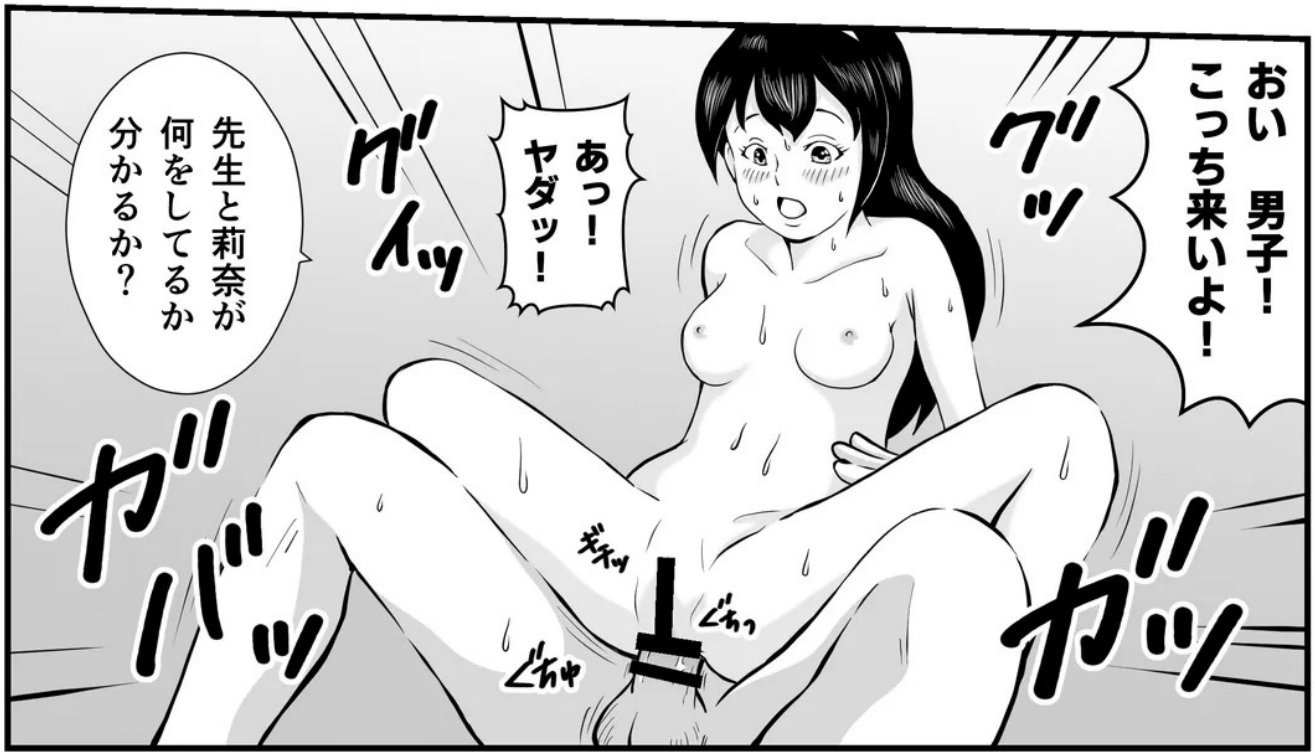

ガッ
グッグッ
グッ
ギチッ
メリ
メリ
グッ
あっ…！
へへへッ！
ぐいっ
ぬぽっ


グッグッグ
メリ
メリ
メリッ
莉奈
力抜け！
入らねぇよ！
んあっ！
んぐっ…！
ガッ


ズーズーズ
ギチッ
ギチッ
うぐぐぐ
先生もアナルは
初めてなんだ
お前にアナル童貞
くれてやるよ！
お前の
アナル処女も
いただくぞ！
メリッ
メリッ
メリッ


おおぉぉ――！
入った！
ズブブッ
メリッ
ギチッ
ビクッ
あぁぁぁ
莉奈
入ったぞ！
ズポッ
んんっ
パン
おい　莉奈
お前スゴイな
ケツにガッツリ
チンコ咥えてるぞ！
あ…あ
ぐちゅ
ぐちゅ
ハァ　ハァ…！
すげぇ締まり♪
莉奈は
アナルも
スゴイな♪
ああ…
ぐっ…
グッ


そうだ
面白いこと
思いついた！
あっ…
バッ
グッ
ギチッ
ギチッ
ガッ


おい　男子！
こっち来いよ！
あっ！
ヤダッ！
先生と莉奈が
何をしてるか
分かるか？
グッ
グイッ
ガッ
ガバッ
ギチッ

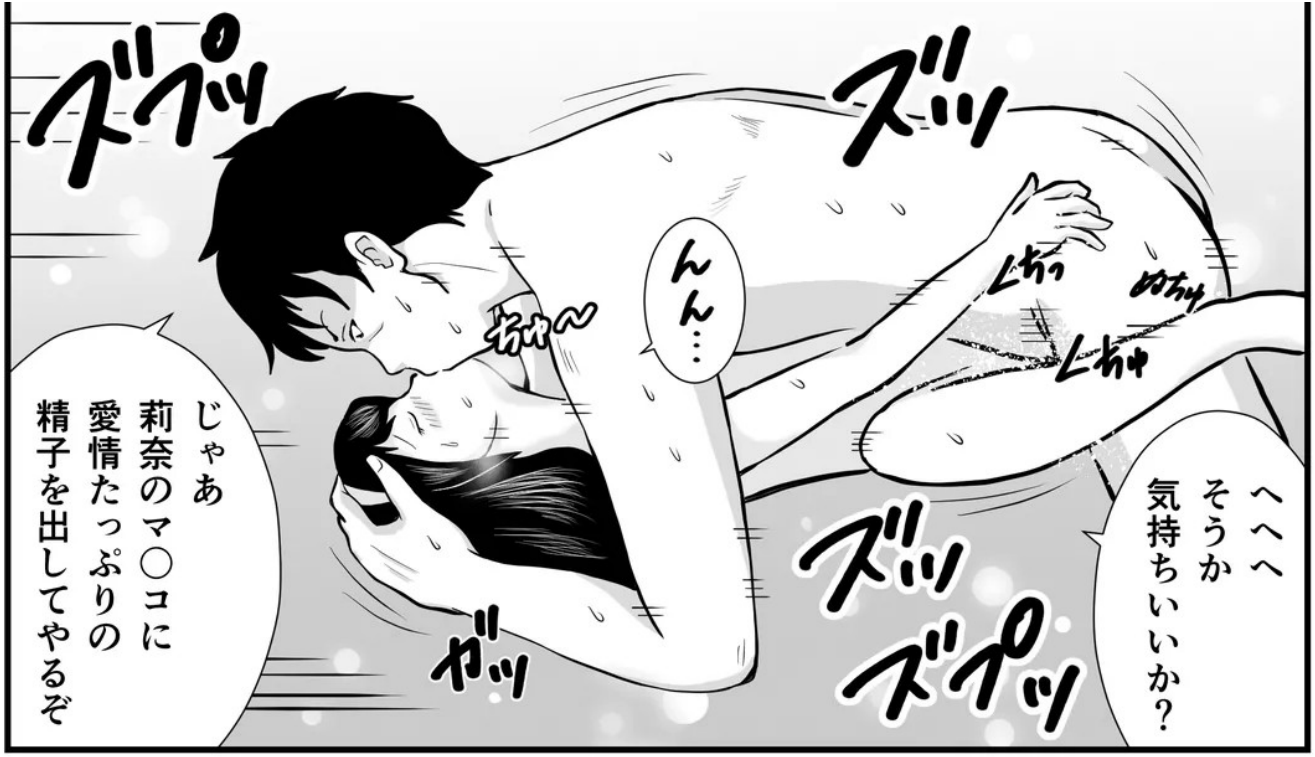

うわっ　スゲェ！
莉奈さんのお尻に
先生のチンコが
入ってる！
何
コレ？
じ～
エロッ
ウヘヘ
ガッ
これ…
エロ動画で
見たことある…
ゾロゾロ


へへへッ！
グッ
ズポッ
じぃ～
ぐちゅ
ぐちゅ
ズポッ
あぁ
グッ
んん…
おい　莉奈
みんなが
お前のケツに
チンコが入ってる
ところを見てるぞ♪


じゃあ
莉奈…
あっ…
ガッ
グッグッ
ヌポッ
そろそろ
フィニッシュいくぞ


最後は
莉奈のマ○コで
キメてやる！
たっぷり
中出しして
やるからな！
ニヤッ

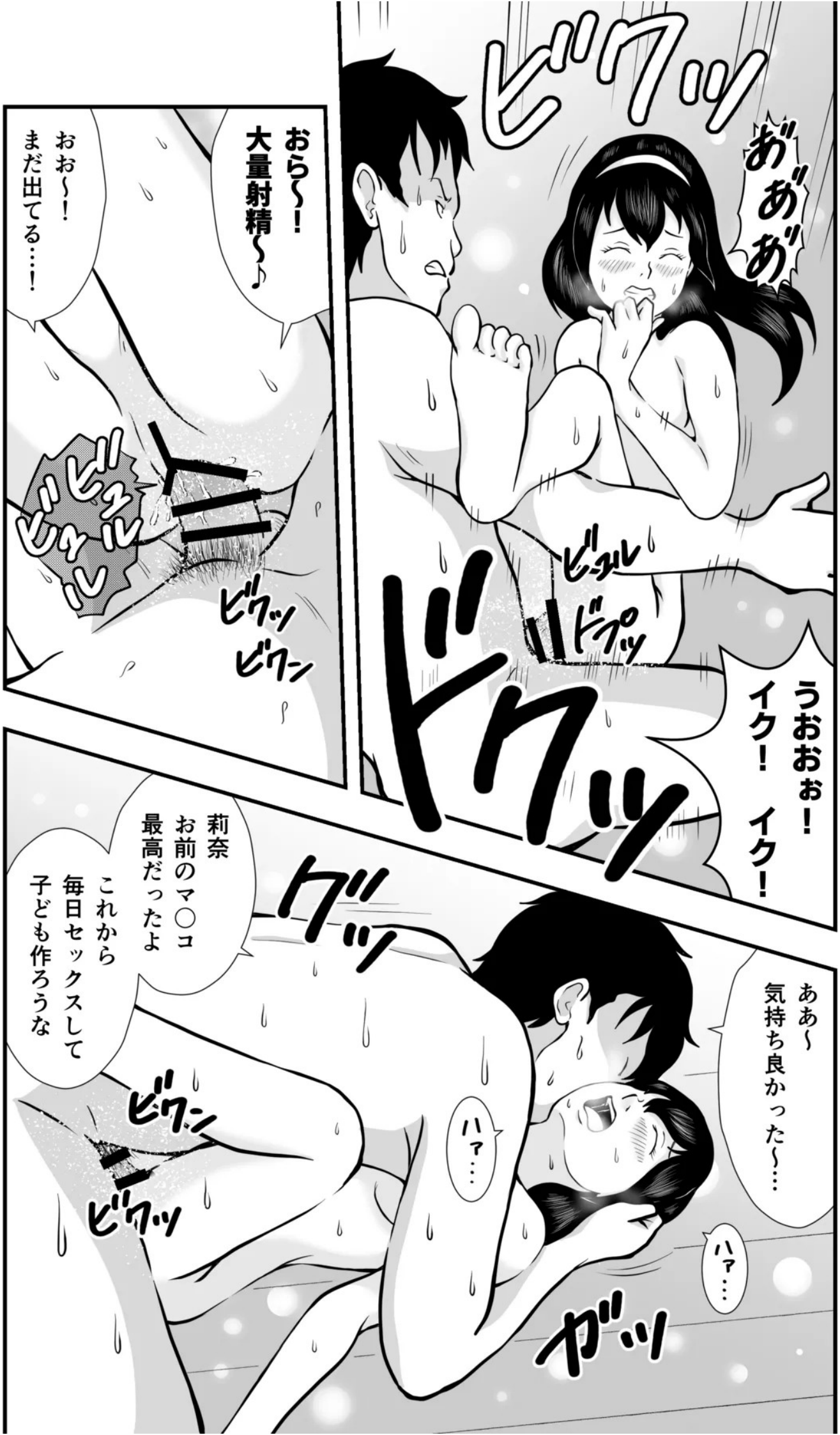

いくぞ♪
グッグッグッ
ケホッ
グッ
ドドドド
おらっ！
グッ
あぐっ！
ぐちっ
グッグッ
あぁ
やっぱ
莉奈のマ○コ
いいぞ～！
ズプッ
あっ
ズプッ
んん
ズッ
どうだ 莉奈？
ケツもいいけど
マ○コの方が
気持ちいいか？
ズプッ
グッ
ぐちっ
ぐちゃ
ぬちゃ
ズッ
は はい…
気持ちいいです
ズプッ


ズプッ
ズッ
んん…
ぢゃ〜
へへへ
そうか
気持ちいいか？
ズッ
ズプッ
ガッ
じゃあ
莉奈のマ○コに
愛情たっぷりの
精子を出してやるぞ


あっ…
ぢゃ〜
ぢゃっ
グッ
レロ
レロ
ああぁ〜
いいぞ
いいぞ〜
ズプッ
ズブッ
はっ
あん
ぐぢゃ
どぢっ
ぬぢゃ
ズッ
ズッ
莉奈のマ○コが
どんどん
締まってきてるぞ


おぉ！　莉奈！
イクぞ！　イク！
ああああ
あぁ　出る！
もう出る！


莉奈　出すぞ！
莉奈の子宮の
一番奥に
出してやるぞ！
せ　先生！
出して！
莉奈に中に
いっぱい
精子出してください


ビクッ
あ〜あ〜あ〜
うおおぉ！
イク！　イク！
ビュル
ビュッ
ドクッ
おら〜！
大量射精〜♪
おお〜！
まだ出てる…！
ビュル
ビュル
ビュル
ビクッ
ビクン
ああ〜
気持ち良かった〜…
ハァ…
ハァ…
ガッ
グッ
莉奈
お前のマ○コ
最高だったよ
これから
毎日セックスして
子ども作ろうな
ビクン
ビクッ


ゴオオ
〈〈〈…
フハハハ！
何とも
精神的に
追い詰められた
人間を乗っとるのは
容易いことだな


ドオオ
さてと…


次は
どの女を犯すかな
ここの女どもに
ワシの子を
産んでもらおう
ズズズズ
フハハハハ！

あとがき

「ま王の教室」
ご購入していただきありがとうございます。

初めまして、こんにちは。
炉夢(ろむ)です。

「ま王の教室」いかがだったでしょうか。
知り合いの臨時教員から聞いた学校での話を元に
今回のマンガを制作してみました。

まだまだ、未熟なところが多いのですが、
皆さんが楽しんでいただけるような作品を描いていきますので、
応援などしていただけたら幸いです。

「ま王の教室」

著作　炉夢(ろむ)

この漫画の著作権は炉夢(ろむ)にあります。

無断転載・複製・Web上での掲載は禁止です。

この漫画はR-18です。
１８歳未満の方の閲覧は固くお断りします。